

令和2年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について

・ 農業分野	:	1	～	5	ページ
・ 林業分野	:	6	～	7	ページ
・ 水産業分野	:	8	～	10	ページ
・ 商業分野	:	11	～	14	ページ
・ 工業分野	:	15	～	16	ページ
・ 観光分野	:	17	～	22	ページ
・ サイクリング専門委員会	:	23	～	27	ページ
・ 住宅分野	:	28	～	30	ページ

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
新規就農者数	10人	-	-	

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C)
 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、農業者の所得等について様々な影響が生じていたことから、JAや関係機関と連携し、コロナウイルスの影響の把握を実施し、各施策の検討を行った。
 また、数値目標である新規就農者の獲得に向けた取り組みでは、JAや関係機関と協力し、就農相談等に適宜応じる等対応を行っているが、就農について安易な考えの方も多い状況である。

【R2.7月以降の取組について】(A)
 コロナウイルスの影響を引き続き注視し、経営安定を図る。
 また、新規就農者の相談は増加しているため、適切なアドバイスをを行い、担い手確保も含め取り組んでいく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
担い手確保に向けた取り組み	◆ 担い手確保に向けた取り組み			
	1. 農業次世代人材投資事業(準備型)	【当初】 次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。 【6月末までの取り組み状況】 JA・高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談 6月広報にて周知	相談はあるが、就農するのは至っていない。	JAや高知県農業振興センターと情報共有・連携し周知を図る。
	【目標値】 補助交付人数(1人) 6月末実績： 0人 【実施主体】 高知県 【連携する分野】 -	【当初】 農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。 【6月末までの取り組み状況】 JA・高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談	6月末で1名が終了。 相談はあるが、雇用には至っていない。	JAや高知県農業振興センターと情報共有・連携し周知を図る。
	2. 農の雇用事業 【目標値】 補助交付人数(1人) 6月末実績： 0人 【実施主体】 高知県農業会議 【連携する分野】 -	【当初】 産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目指し、高知県知事が就農に有効であると認める研修を実施する研修機関等及び農の雇用事業を活用する農業法人等で研修を受ける者に対して高知県及び香南市が補助する事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)及び農の雇用事業の上乗せ事業。 ※ 農業次世代人材投資事業(準備型)の対象外となる年齢の者も対象となる。(15歳以上65歳未満) R2：香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。 【6月末までの取り組み状況】 JA・高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談 6月広報にて周知	就農希望者が、香南市の求める就農希望者であることを香南市担い手育成総合支援協議会で十分に見極める。	新・農人フェア(10/17:東京、11/14大阪)への参加し、合同就農相談会で意欲ある就農希望者を探す。 また、JAや高知県農業振興センターと情報共有・連携し周知を図る。 意欲ある就農希望者には、それぞれのビジョンにあった支援について検討していく。
3-1. 担い手支援事業(専業農家育成支援区分)	【目標値】 補助交付人数(4人) 6月末実績： 0人 【実施主体】 高知県 香南市 【連携する分野】 -			

担い手確保に向けた取り組み	<p>3-2. 担い手支援事業（後継者育成支援区分）</p> <p>【目標値】補助交付人数（3人） 6月末実績：2人 メロン1 みかん1</p> <p>【実施主体】 高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。</p> <p>R2：香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 JA・高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談 6月広報にて周知</p>	<p>親元就農者は、新規参入者に比べリスクは少なく、Uターン就農、転居後・離職後1年以内が条件となっているため条件が当てはまらない方もいた。</p>	<p>新・農人フェア(10/17:東京、11/14大阪)への参加、合同就農相談会で意欲ある就農希望者を探す。 JA・高知県農業振興センターと情報共有・連携し周知を図る。</p>
	<p>4. 農業次世代人材投資事業(開始型)</p> <p>【目標値】補助金の新規交付人数（4人）</p> <p>6月末実績：6人 (ニラ 4人、トマト 1人、キュウリ 1人)</p> <p><参考> R2.7から夫婦型による開始 1件 R2.7から開始 4件</p> <p>【実施主体】 高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。</p> <p>R2：香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金農地等の課題に対応する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 JAや高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談 6月広報にて周知</p>	<p>開始者に対し、適切な支援をしていく。 また、交付を受けた人が継続して営農を続けられるよう関係機関と協力・サポートしていく。</p>	<p>就農相談から就農後の定着まで長期間の支援により経営を支援する必要がある。 関連機関との連携により周知・支援を続けていく。</p>
	<p>5. 農業後継者推進事業</p> <p>【目標値】補助金の新規交付人数（6人） 6月末実績：0人 (参考) R2年度受給予定者:2名</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。 (3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。)</p> <p>R2：香南市広報掲載への掲載による制度の周知。 合同就農相談会や移住相談会へ参加し就農希望者に対し香南市のアピールを行う。 JA、県農業振興センター、市で構成するサポートチームにより、就農初期の経営・技術、営農資金、農地等の課題に対応する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 JAや高知県農業振興センターとの情報共有及び就農相談 6月広報にて周知</p>	<p>JAや高知県農業振興センターと情報共有し補助対象者への周知。 交付を受けた人が継続して営農を続けられるよう関係機関と協力・サポートしていく。</p>	<p>広報・関係機関への呼びかけ、新規就農イベント等で引き続き周知を図る。</p>
	<p>6. モニターツアー事業</p> <p>【目標値】参加者人数（15人） 6月末実績：0人</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市観光協会 (株)山北みらい</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 営農を検討している香南市内外の人を対象に香南市産地提案書品目を中心に農作業体験モニターを実施する。参加者アンケートにより、(株)山北みらいの「週末農家事業」や「繁忙期の担い手事業」(R2年度から各実施予定)への参加等連携した取組を行う。 取組予定 R2～:ニラ(8月)、ブドウ(9月)、ミカン(11月)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 具体的な取り組みなし</p>	<p>農業活性化地域協議会の事業として実施予定であるが、新型コロナウイルスの影響で実施できていない</p>	<p>12月の体験ツアー実施に向け準備を行っていく</p>

◆経営改善・農地維持に向け取り組み				
経営改善・農地維持に向けた取り組み	<p>1. 園芸用ハウス整備事業</p> <p>【目標値】整備件数(13件) 6月末実績：4件 (規模拡大区分 3件、流動化1件)</p> <p>【実施主体】 JA高知県 香美地区</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。</p> <p>R2： 香南市広報掲載への掲載による制度の周知や、JA高知県香美地区主催の説明会に市も参加して当事業について説明を実施する。 また、園芸用ハウス整備事業について説明を行うことで利用件数の増加を図る。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 規模拡大区分3件(内1件は高度化区分と併用申請)、流動化区分1件毎年JAと連携をとり、事業説明会を行っているが、コロナの影響で中止となった。</p>	<p>概ね予定通りに事業を遂行できているが、流動化区分2件、高度化区分1件で中止案件があった。</p>	<p>年度中に要望があれば、予算、事業完了予定を確認のうえ、随時申請していく。 また、引き続き市やJAの広報等で、周知を図っていく。</p>
	<p>2. 環境制御技術高度化事業</p> <p>【目標値】活用施設件数(25件) 6月末実績：2件(実施中) ※件数=経営体数</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 JA及び市場等を通じて要望を取りまとめて、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 現在2件(経営体数)の申請を受け付けて取り組んでいる。</p> <p>主な装置 環境制御装置・日射比例灌水・炭酸ガス発生機・濃度コントローラー・ダクトファン</p>	<p>【県環境制御技術高度化事業への別途市補助金継ぎ足し分】 年度当初に予定されていた事業は全て現在実施中</p> <p>【産地パワーアップ事業への別途市補助金継ぎ足し分】 計画変更が例年秋頃となるため、要望を提出している段階である。 今後は8件ほど予定されている。</p>	<p>【県環境制御技術高度化事業への別途市補助金継ぎ足し分】 6月末現在で2次募集が終了。 3次・4次募集が予定されており、要望状況に注視し、市継ぎ足し予算を確保していく。</p> <p>【産地パワーアップ事業への別途市補助金継ぎ足し分】 現在13件(導入機器数 9経営体)の要望を受けており、今後は、産地パワーアップ事業の事業計画承認が、秋頃となるため、該当する環境制御装置についても手続きを進めていく。</p> <p>※ 当事業は「(県)環境制御技術高度化事業」「(国)産地パワーアップ事業」への別途市単独での継ぎ足し補助を実施。</p>
	<p>3. 産地パワーアップ事業</p> <p>【目標値】事業活用件数(30件) 6月末実績：0件 ※件数=導入機器数</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>【連携する分野】 産地パワーアップ計画書 【香南市(ニラ)第2期】</p>	<p>【当初】 産地の高収益化に向けた低コスト耐候性ハウスや環境制御装置を導入して、全国一のニラ生産地を総合的に支援する。 R2： そぐり機 5件、環境制御装置 25施設を整備</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 現在は募集を終えて要望を提出している段階であり、実績は0件(導入機器数)である。</p>	<p>現在は募集を終えて要望を提出している段階であり、実績は0件(導入機器数)である。</p>	<p>要望数は9経営体で13件(導入機器数)上がってきており、今後も事業のPRを続けていく。</p>
	<p>4. 人・農地プランの実質化</p> <p>【目標値】【協議地区数(20地区)】 6月末実績：0地区</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市農業委員会</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた地域のプランを設計する。 R2： 全地区(20地区)の実質化。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 実質化に向けての取り組みの一つであるアンケート調査及び地図システム契約を行った。</p>	<p>20地区対象に集計面積50%を目指し、アンケート調査を行ったが、50%に達していない地区が3地区ある。</p>	<p>引き続き集計面積が50%に達していない地区は農業委員会と連携して目標達成を目指す。 今後は8月末までに地図のシステム化、協議の準備を行い、9月上旬から順次集落での話し合いを各地区で開催していく。</p>

<p>経営改善・農地維持に向けた取り組み</p>	<p>5. 農産物のブランド化の推進(みかん)</p> <p>【目標値】 加工品の販売額(5,500千円) 6月末実績：1,890千円</p> <p>ジュース売上：100千円 バター売上：1,790千円</p> <p>【実施主体】 香南市農業活性化地域協議会 [JA生産者部会・地域各実行委員会 (株)山北みらい等]</p> <p>【連携する分野】 商工業・観光</p>	<p>【当初】 各事業の活用や関係機関との連携により「山北みかん」を題材に香南市や産地のPRを行い、青果や加工品(ジュース、バター等)の販売拡大に取組み、農業所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る。</p> <p><事業活用> 農山漁村振興交付金事業(H29～R3年)による外商やPR活動。加工品の推進。・香南市産業振興計画推進事業費補助金による販路拡大や施設整備の取組。</p> <p><連携した取組(R2～)> ①ふるさと納税返礼品として活用。 ②生産者やJA・観光協会等と連携した販促やPRイベントを実施。 ③(株)山北みらい等とモニターツアーの実施や販路拡大の取組。 ④山北みかんこもれびマルシェを支援し、交流人口や地域活性化。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ジュース売上：100千円 バター売上：1,790千円</p>	<p>バターについては、朝の全国系情報番組で放送されたことで問い合わせが多く、売り上げが伸びている。</p>	<p>今後も目標値に向け、生産・販売に取り組んでいく</p>
	<p>6. 農産物の販売力の推進(ニラ)</p> <p>※JA高知県(香南市分)入金額 ※園芸年度：8月～翌6月</p> <p>【目標値】 ニラ販売額(1,500,000千円) 7月末実績：1,002,722千円</p> <p>【実施主体】 JA高知県 香美地区(香美地区ニラ部会) 香南市観光協会 香南市・香美市</p> <p>【連携する分野】 県物産部川アクションプラン NO.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト</p>	<p>【当初】 香南市の基幹品目であるが、H27年のニラ農家全戸225戸への意向調査によると、10年後には戸数・収量共に3割～4割減となる恐れがある。このため、規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。</p> <p><取組内容> ◆「担い手確保に向けた取組」の各事業、並びに実践型研修ハウス(H31・R元年度設置)の活用による担い手の育成・支援の取り組み。 ◆「経営改善・農地維持に向けた取組」の各事業によるハウス・機器類導入による生産量及び販売額の向上。 ①園芸用ハウス整備事業 ③産地パワーアップ事業(②環境制御技術高度化事業含む) ○高知県次世代型ハウス・農業クラスター促進事業(R元年度、設備導入)の運営の安定化。 ○販路拡大やPRイベントについてJAや観光協会、地元飲食店や地域と連携した取組。農山漁村振興交付金事業(H29～R3年)によるパンフレット作成(R2年度予定)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.3月末に実践型研修ハウスが3棟完成し、ニラの新規就農者が20aの栽培を開始。 4月にニラそぐりセンターも完成し、そぐり手不足の解消につながる取り組みが開始されている。</p>	<p>ニラそぐりセンターの稼働は開始されているが、レーンで作業をする雇用者不足から、4レーン中2レーンしか稼働していない。 また、そぐりセンターへの出荷量も当初の計画より伸び悩んでいる。</p> <p>ニラ料理を提供する店舗のパンフレット作成については新型コロナウイルスの影響で遅れている。</p>	<p>実践型研修ハウスに入った新規就農者に対して、JAや県振興センターと連携しサポートを行い、安定した収量が得られるようにしていく。 また、ニラそぐりセンターの周知を進め、規模拡大にむけて取り組む農家の増加を図っていく。</p>
	<p>7. 中山間地域等直接支払事業</p> <p>【目標値】 対象農地面積 6,650a 6月末実績：0a</p> <p>【実施主体】 各地区の活動組織</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。令和2年度からは第5期対策(5年間、令和2年度～6年度)として11団体で6,650aに取組む。交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」等の取組み実現に向けて各団体を支援していく。</p> <p>※当該団体を主体に、棚田地域振興法に基づく地域指定への取組み(棚田を活用した地域活性化に繋がる活動計画策定や協議会設立等を検討) R2～R3：将来を見据えた集落戦略の作成、並びに指定棚田地域の指定への取組み</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 4月に広報でPRを実施。 申請が出るまで調整中。</p>	<p>計画の認定申請が8月末で締め切りとなっている。 6月末の実績は0となっている。</p>	<p>広報等で制度についての周知を行い、対象面積・農業者数の増加を図る。</p>

経営改善・農地維持に向けた取り組み	8. 多面的機能直接支払事業	<p>【当初】 各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。</p> <p>R2：再認定1組織(西部)、新規立ち上げに向けた調整、既存組織の対象農地面積拡大</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 新たな組織の立ち上げに向けて調整を実施。9組織が継続となり、新たに1組織が立ち上がった。</p>	今年度から新たに下井地区、赤岡西部地区が立ち上がる予定であったが、見送りとなっているため、目標面積に達していない。	新たな組織の立ち上げに向けて周知を図るとともに、既存の活動組織が円滑に事業を実施できるように、市主催の研修会を開催していく。
	9. 有害鳥獣被害対策実施事業	<p>【当初】 鳥獣被害の軽減するため、猟期外にも捕獲許可を出し、捕獲体制の強化を図る。捕獲者には報償金を交付する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 捕獲実績については例年並みとなっている。</p> <p>各捕獲数 イノシシ:65頭 シカ:33頭 その他(タヌキ・カラス等):71頭</p>	<p>捕獲実績については例年並みとなっているが、イノシシの被害やカラスの被害が報告されている。駆除に向けた取り組みを行う中で、近隣住民からの通報があり、警察等との協議を求められることがある。</p> <p>住民等の理解が得る取り組みが今後の課題。</p>	香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと連携しながら、捕獲数を増やしていく。
	10. 有害鳥獣被害防止事業	<p>【当初】 有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 ※ 補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 補助金交付件数：23件（うちシカ用柵21件）</p>	補助実績は例年並みとなっている。	引き続き事業を周知し、活用に繋げていく。
	◆ 農業生産基盤の充実にに向けた取り組み			
経営改善・農地維持に向けた取り組み	1. 耕作条件改善事業	<p>【当初】 1. 中ノ村地区 曾我堰改修工事（R2.10月予定） 農道水路施工（R2.9月予定） 2. 東佐古地区 東佐古地区水路改修工事（R2.9月予定）</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 1. 測量設計中 2. 契約済み</p>	地権者の耕作時期を工事を発注するため、工期内に完了するかが課題である。	地元関係者と適格な調整を行い、次期事業着手地区を選定していく。
	2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業	<p>【当初】 重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。</p> <p>R2：津波浸水区域を優先的に実施。 当事業の周知：R元年度よりタンクの整備件数が減っていることから、市やJAの広報・HPで当事業の整備を積極的に周知</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 広報による周知を行った。</p>	8月以降に申請があるため現段階では実績は0箇所であるが、要望としては4件あがっている。	8月以降に申請があるため目標値到達に向けて取り組んでいく。また、タンクの整備対象者のなかで未整備の者に対し、事業の内容についての案内文書の送付を行い周知を図る。

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
間伐面積	25ha	0ha	-	

※ 目標値である「間伐面積」は、間伐面積は「緊急間伐総合支援事業」と「森林管理制度間伐委託事業」の合計値

<p>【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C) 新型コロナウイルスにより、木材の価格が低下し、搬出間伐が実施しにくい状況であるため、保育間伐を重点的に実施するための補助メニューの新設と施業地の確保、雇用維持のために市有林間伐の実施に向けた調整を行った。</p> <p>【R2.7月以降の取組について】(A) 緊急間伐総合支援事業費補助金を活用した保育間伐、及び市有林の間伐を実施する。</p>

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理			
	1. 意向調査の実施 【目標値】 (30ha) 6月末実績： 0ha 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	<p>【当初】 森林環境譲与税を活用し、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を発送し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。</p> <p>R2 : 森林所有者への意向調査の実施(夜須町仲木屋)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.6月に森林法が改正され、林地台帳の情報整備を目的として、当市税務収納課が所有する納税管理人情報を利用することが可能となった。 このことから、税務収納課と連携し、森林の納税管理人へ調査票を発送する準備を実施。</p>	納税管理人情報を活用しても所有者を特定できない場合は、戸籍をたどる等の対応が必要であることから、早期に準備を進め、把握に努める必要がある。	R2.8月中旬に発送を完了させ、9月～10月で集計を行い、調査実施済み地区の「森林境界明確化」を委託する。 ※ 下記の「◆森林境界明確化事業」へつなげていく。 納税管理人情報をもとに林地台帳に所有者情報を登録する際に納税管理人の同意が必要であるため、意向調査用紙に「所有者である確認及び同意」の項目を加え、意向調査と同時に実施する。
	◆ 森林境界明確化事業の実施			
	1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業 【目標値】 (25ha) 6月末実績： 0ha 【実施主体】 香南市 ※連携団体(香美森林組合) 【連携する分野】 -	<p>【当初】 意向調査を実施した森林について、市が事業主体となり、森林境界明確化を実施する。</p> <p>R2 : 森林境界明確化 の実施(夜須町仲木屋)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 香美市、南国市、高知県と協議し、香美森林組合に業務委託する際の単価を決定した。</p>	意向調査が完了次第、実施する。	意向調査が完了次第、香美森林組合に委託して実施する。
◆ 間伐事業の実施				
1. 緊急間伐総合支援事業(保育・搬出間伐) 【目標値】 (25ha) 6月末実績： 0ha 【実施主体】 香美森林組合 【連携する分野】 -	<p>【当初】 「緊急間伐総合支援事業費補助金」を活用し、香美森林組合等が保育・搬出間伐を実施する。 R2以降 : 保育・搬出間伐の実施</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 緊急間伐総合支援事業費補助金における保育間伐の補助メニューの新設と市有林間伐実施に向けた調整を実施。</p>	新型コロナウイルスにより、木材の価格が低下し、搬出間伐が実施しにくい状況であるため、保育間伐を重点的に実施する。 保育間伐に対して、森林環境譲与税を活用し、100%補助となるように補助メニューを新設。 また、搬出間伐が実施できない分の施業地を確保し、雇用を維持するために市有林の間伐を実施する。	緊急間伐総合支援事業費補助金を活用した保育間伐(香我美町撫川・舞川、夜須町仲木屋周辺を予定)及び市有林の間伐を実施する。	

<p>森林環境の保全に向けた取り組み</p>	<p>2. 森林管理制度間伐委託事業(保育間伐)</p> <p>【目標値】(施業地の選定) 6月末実績：未実施</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>※連携団体 香美森林組合 等</p> <p>【連携する分野】</p>	<p>【当初】 意向調査の結果、「市に管理を委ねる」と回答があった森林のうち、「経営が成り立たない森林」に対し、森林環境譲与税を活用し、市が事業主体となり、保育間伐を実施する。</p> <p>R2 : R3年度の事業実施に向けた施業地の選定</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 未実施</p>	<p>意向調査及び森林境界明確化完了後に実施。</p>	<p>意向調査完了後に香美森林組合と協議し、「経営が成り立たない森林」の大凡の場所を抽出する。森林境界明確化完了後に施業地を確定する。</p>
<p>◆ 山や森林に親しむ機会の提供</p>				
<p>啓発・普及への取り組み</p>	<p>1. 木育事業 ①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知</p> <p>【目標値】 実施回数(11回) 6月末実績： 0回</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>※連携団体 高知県森と緑の会 香南市支部 香南市教育委員会 香美森林組合 地域の有識者</p> <p>【連携する分野】</p>	<p>【当初】 図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントの開催する。また、市内の保育園や幼稚園、小・中学校の授業や行事での森林体験学習を実施する。 ※ 市内保・幼・小・中学校 22施設を対象とし、毎年11施設ずつ実施。 ※ 緑の募金を活用し、高知県森と緑の会と連携して事業を実施する。 ※ 森林環境譲与税を活用し、香南市農林水産課の事業として実施する場合もある。 ※ 林業関係者及び有識者と連携して事業を実施する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ファーストスプーン事業の実施に向けて「子育て支援センター」と調整したが、コロナウイルスの影響で利用時間の制限があり、別の場所での実施を再検討することになった。また、教育委員会の所属長会に出向き、木育事業について説明し、周知を実施。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、場所や参加人数等の感染防止に向けた配慮が必要である。 小・中学校が休校の影響で授業時間に余裕が無い状況である。</p>	<p>各保・幼・小・中学校に個別に提案するなどして、実施できるように調整する。 円滑に実施に繋がるように希望する各保・幼・小・中学校から農林水産課に対して、希望日時や実施内容等を記載した「事業計画書」を作成する。 また、休日に図書館等の施設でイベントを開催できるように調整する。</p>

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
沿岸漁業 総生産額	285百万円	31百万円	-	

※高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。

■ 取組の総評 (※左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C) 生産額については31百万円(前年同月比31%)と大きく減少している。主な要因としては、赤岡・吉川のイワシシラスが例年より大幅減少し、また、昨年は6月が例年になく好調であったこともあり、大きく減少した要因となっている。水産業における新型コロナウイルスの影響についてのヒアリングの実施し、各種施策の検討を実施した。</p> <p>【R2.7月以降の取組について】(A) 今後は「新しい生活様式」に対応するために、「新しい生活様式」に適合するような商品(通販・持ち帰り可能品等)を開発、新たな販路を開拓することにより、市内水産物等の利活用を促進させ、地域の事業者及び産業関連業者の振興及び経営安定を図る。このことにより、新型コロナウイルス感染症の影響を少しでも克服していくための第1歩とする。</p>
--

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
地産の強化	◆ 生産基盤の充実			
	1. 水産機能施設の整備 【目標値】 3件 6月末実績：1件(施工中) 【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合 【連携する分野】 -	<p>【当初】 R2.6: 吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 R2.7: 赤岡水産機能施設(上架施設)改修 R2.8: 吉川水産機能施設(荷捌き所)補修</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 吉川水産機能施設(冷凍設備)改修 発注済</p>	現在計画どおり順調に進捗している。	赤岡水産機能施設(上架施設)改修 発注予定(7月) 吉川水産機能施設(荷捌き所)補修 発注予定(8月) 計画している改修整備以外に緊急の故障等により、漁業活動への支障を来している施設もある。そのため、各支所の状況を継続してヒアリングし、漁協と連携し適切な維持管理に努める。
	2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】 ※ ○/11施設(A判定のみの数) ※ 参考: R元年12月末 6施設/11施設 = 55%	<p>【当初】 【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 11施設 住吉漁港:休けい物揚場(完)・東防波堤(完)・西防波堤 吉川漁港:-2.0m物揚場(完)・-1.5m物揚場(完) ・護岸(東)(完)・船揚場(4)(完) 導水施設(B)・-3.5m航路・-3.0m泊地・-2.0m泊地</p> <p>R2:7施設/11施設 住吉:西防波堤 0.5施設 吉川:導水施設(B) 0.5施設 計1施設</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 吉川漁港-3.5m航路浚渫を実施するための関係機関との手続完了</p>	当初計画は住吉漁港(西防波堤)・吉川漁港(導水施設(B))の保全工事を予定していたが、吉川漁港 -3.5m航路の土砂堆積による航行障害が発生したため、急遽実施するための手続を行った。 現在は8月発注に向けて調整中。	・吉川漁港 -3.5m航路(浚渫) 保全工事 → 11月末完成予定 機能保全計画に沿った保全工事実施(住吉・吉川)
	【目標値】 整備率 64% 6月末実績：55%整備率(6/11施設) ※R2.3末と同率 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -			
◆ 漁業者の生産性の向上				
1. 沿岸漁業設備投資促進事業 【目標値】 利子補給制度策定 6月末実績：未策定 【実施主体】 漁業者・漁業就業支援センター (漁協・高知県・香南市) 【連携する分野】 -	<p>【当初】 R2: 漁業者の設備投資の際に借り入れる近代化資金の利子補給制度の策定</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・漁業災害対策資金利子補給制度(新型コロナウイルス対策) ・沿岸漁業等経営育成資金利子補給制度</p> <p>以上策定手続実施 (8月策定予定)</p>	当初は漁業者等が行う施設等の整備等の際の借り入れに対して利子補給を実施する制度を策定する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、被害漁業者の運転資金等の借り入れに対する利子補給制度を策定することを優先したため、現在のところ未策定となっている。	今後は来年度予定されている漁船リース事業等に対応した利子補給制度を策定していく。 また、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている地域の水産業者を支援するため、 ①船舶用燃料の購入費(漁業者) ②内水面養殖に係る施設運転経費(内水面養殖業者)の一部を補助する制度を確立していく。 このことにより、漁業の生産性の向上、漁業経営の安定化を図る。	

◆ 市内水産物の認知度向上(ブランド化)																																															
流通・販売の強化	<p>1. 市内水産物の魚価向上</p> <p>【目標値】 【平均kg単価(円/kg)】 (シイラ) 【平均kg単価(138円/kg)】 (イワシシラス) 【平均kg単価(361円/kg)】</p> <p>6月末実績 (シイラ) 【平均kg単価(81円/kg)】 ...前年同月比92% (イワシシラス) 【平均kg単価(274円/kg)】 ...前年同月比52%</p> <p>【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 行政(高知県・香南市)</p> <p>【連携する分野】 観光分野、商業分野</p>	<p>【当初】 他分野との連携による市内水産物(シラス・シイラ)の利活用(観光協会等と連携)】</p> <p>R2: 地元産水産物の利用状況アンケートの実施・集計 【市・観光協会等】</p> <p>⇒ 未使用店舗への利用促進 ⇒ 地元からのPR強化 【市・観光協会等】</p> <p>【水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング】 R2～: 漁協等と事業所のマッチングによる新商品の開発・販売 【漁協等・事業所】</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 未実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="4">イワシシラス</th> </tr> <tr> <th>シイラ 手結</th> <th>赤岡</th> <th>吉川</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">生産量(kg)</td> <td>R1.6末</td> <td>157,843</td> <td>74,899</td> <td>86,597</td> <td>161,496</td> </tr> <tr> <td>R2.6末</td> <td>198,278</td> <td>26,884</td> <td>18,497</td> <td>45,381</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生産額(円)</td> <td>R1.6末</td> <td>13,821,192</td> <td>44,800,950</td> <td>39,507,700</td> <td>84,308,650</td> </tr> <tr> <td>R2.6末</td> <td>16,036,565</td> <td>6,815,340</td> <td>5,626,900</td> <td>12,442,240</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平均単価 (円/kg)</td> <td>R1.6末</td> <td>88</td> <td>598</td> <td>456</td> <td>522</td> </tr> <tr> <td>R2.6末</td> <td>81</td> <td>254</td> <td>304</td> <td>274</td> </tr> </tbody> </table>		年度	イワシシラス				シイラ 手結	赤岡	吉川	合計	生産量(kg)	R1.6末	157,843	74,899	86,597	161,496	R2.6末	198,278	26,884	18,497	45,381	生産額(円)	R1.6末	13,821,192	44,800,950	39,507,700	84,308,650	R2.6末	16,036,565	6,815,340	5,626,900	12,442,240	平均単価 (円/kg)	R1.6末	88	598	456	522	R2.6末	81	254	304	274	<p>(シイラ) 4月は例年単価がいいが、今年度は例年になく水揚量が多く、その分単価が少し下がっている。</p> <p>(イワシシラス) 全体的に水揚げが少なく、昨年と比べ大幅に減少している。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響による営業自粛により、市内飲食店等は経営継続に苦慮されている状況である。そのため、今年度地元水産物の利用状況アンケートを計画していたが、この状況下では実施できない状況であるため、今後は状況を見極め、検討していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、また「新しい生活様式」に対応するために、「新しい生活様式」に適合するような商品(通販・持ち帰り可能品等)を開発、新たな販路を開拓することにより、市内水産物等の利活用を促進させ、地域の事業者及び産業関連業者の振興及び経営安定を図る。</p> <p>「市産業振興計画推進事業費補助金」の活用を検討中。</p>
		年度			イワシシラス																																										
			シイラ 手結	赤岡	吉川	合計																																									
生産量(kg)	R1.6末	157,843	74,899	86,597	161,496																																										
	R2.6末	198,278	26,884	18,497	45,381																																										
生産額(円)	R1.6末	13,821,192	44,800,950	39,507,700	84,308,650																																										
	R2.6末	16,036,565	6,815,340	5,626,900	12,442,240																																										
平均単価 (円/kg)	R1.6末	88	598	456	522																																										
	R2.6末	81	254	304	274																																										
<p>2. 高知県漁協手結支所の販売額 県内外の取引先との取引継続</p> <p>【目標値】 販売額：5,100万円 6月末実績：691.5万円(前年同月比:67.7%)</p> <p>【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 (高知県・香南市)</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大</p>	<p>【当初】 【県漁協手結支所販売事業の支援】</p> <p>R2: 香南市産業振興計画施設等整備事業費による 「自動真空包装機」の導入 : 県版HACCP取得(県支援制度活用)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 県漁協手結支所による販路開拓の実施</p>	<p>これまでの大口取引先との取引量が大幅に減少しているため、売上が昨年度比67.7%となっている。これは新型コロナウイルス感染拡大による外食産業の停滞や取引先の仕入れ先の分散等の影響が大きい。このような状況下で、新たに取引を開始した卸売業者への出荷により、漁協の市場への影響力がある程度保持され、浜値の下支え機能の維持に繋がっている。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により売上が減少しているが、漁協取扱数量の維持に向けて、取引先からの様々なニーズに対応できるような体制の構築が必要である。</p>																																												
<p>3. シラス加工品販売額</p> <p>【目標値】 販売額:○万円/社 を決める 6月末実績: 未実施</p> <p>【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市)</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 【シラス魚価向上につながる加工業者へのヒアリングの実施】</p> <p>R2: 県版HACCP取得(県支援制度活用) : どのような取組が必要であるかのヒアリング ⇒ まとめ ⇒ 取組決定</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 新型コロナウイルスの影響についてのヒアリングの実施</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う加工業者への影響を主にヒアリングを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外食産業 → 休業による売り上げの減少 ・県内量販店向け → 特段影響はない模様 ・首都圏市場送り → 販売できても安値だが、販売しなければ収入がない ・第2・3波への対応要検討 	<p>目標値としてのシラス加工品販売額については、加工業者へのヒアリングを実施し、協力いただける部分については今後は統計をとれる体制としていく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、また「新しい生活様式」に対応するために、「新しい生活様式」に適合するような商品(通販・持ち帰り可能品等)を開発、新たな販路を開拓することにより、市内水産物等の利活用を促進させ、地域の事業者及び産業関連業者の振興及び経営安定を図る。</p> <p><今後の予定> 「市産業振興計画推進事業費補助金」の活用 「香南市小規模事業者持続化補助金」の活用</p>																																												

◆ 学校給食等への納入				
流通・販売の強化	1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ)	【当初】 【市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進】 ※ R2.2月に試験的な納入開始予定 R2:16回/年 (1回/月×8ヵ月(6~9月納入なし)×2センターで算出) R2:第1期香南市産業振興計画の取組の中で、納入不可とされた加工業者との調整を行うことで利用件数の増加を図る。 【6月末までの取り組み状況】 こうなん給食センター 3回 納入 赤岡・吉川 給食センター 4回 納入	R2.2月より試験的な納入を開始したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、市内学校が長期の休校となった。 休校中の学校での受け入れもあり、納入回数は計画を上回っている。	(かちりじゃこ) 試験的な使用から定期的な使用を実現するために、関係機関と協議していく。また、納入可能業者を増加させていくために必要な対応を整理していく。 (シイラ) 今年度も継続し納入していく。 (コロナ関係) 県産水産物の学校給食提供推進事業(県事業)により、新型コロナウイルスの影響を受けている養殖魚を学校給食に提供することで、在庫の滞留や魚価の改善に繋げる。
	1-2. 学校給食等への納入 (シイラ)	【当初】 【市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続】 R2:22回/年 (H27~H30平均納入回数 21回) ※献立により上限はあるが、使用頻度の増加を図る。 【6月末までの取り組み状況】 こうなん給食センター 3回 納入 赤岡・吉川 給食センター 4回 納入	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、市内学校が長期の休校となった。昨年度よりは2回減少しているが、休校中の学校での受け入れもあり、大きな減少はない。	
◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保				
担い手の確保	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業)	【当初】 R3.3末:就業希望者への主要漁業種別の生活プランの作成 → R4.4以降(一社)高知県漁業就業支援センター実施のフェア等への参加 R2.8~:各種支援制度の説明会の開催 (年1回程度 既存漁業者対象) R3.3末:支援制度活用後の市単独での一時支援策の策定 :市産業関係移住者(関係分野統一)に対する支援策の策定 (研修中の家賃補助等) ※市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。 【6月末までの取り組み状況】 未実施	既存漁業者への支援制度の説明を、船主会(吉川)の総会時に行うことを漁協担当者と協議していたが、コロナウイルスの影響により、総会が開催できなかったため実施していない。	(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により、既存漁業者への支援制度説明についてもコロナの状況を注視し、開催していく。また、就業希望者への主要漁業種別の生活プランの作成し、広く周知していく。
	【目標値】 就業者数:1人 6月末実績: 0人	【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者 【連携する分野】 農業分野、林業分野、住宅分野		

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
商業者数 (事業所)	813事業所	-	-	
新規事務系企業数 (企業/年)	2社	1社	-	

※ 商業者数は、香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。
H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定

※ 新規事務系企業数は、香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

<p>【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業者等への支援事業を優先し、各事業の取り組みは進んでおらず、今年度実施することを見送った事業がある。</p> <p>システム開発及び運用、データ入力事業を手掛ける合同会社NGS(本社:東京都世田谷区)が、R2.4.1に道の駅やすE棟へオフィスを開設した。 今後は市内における若者の雇用拡大等、産業振興への寄与が大きく期待される。</p> <p>【R2.6月以降の取組について】(A) 新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、予定していた事業に取り組んでいく。 また、11～12月開催予定の「香南カーニバル事業」により、市民等の外食消費を促し、飲食業等の事業継続を下支えする。</p>
--

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】	
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて	
空き店舗活用に向けた取り組み	◆ 空き店舗対策				
	1. 商店街等振興計画の策定	<p>【当初】 地域商業を活性化させるために中心市街地を核にした振興計画を策定する。</p> <p>【目標値】計画の策定 6月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域商業者</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>【当初】 市内全域の空き店舗数や形態に関する実態調査を実施する。</p> <p>R2.5月から協議会及びWGのメンバー等選定 R2.8月から定期的に協議会、WGを実施 R3.1月に当計画を策定</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・R2.6月に高知県と策定に向けた事前協議を実施</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、計画策定に向けた具体的な取り組みができていない。</p>	<p>市商工会や県と協議をしつつ、策定に向けた取り組みを進める。 また、R3年1月頃から計画策定に向けた協議会やワーキングを実施し、R3年5月頃の策定完了を目指す。</p>
	2. 空き店舗実態調査の実施	<p>【当初】 市内全域の空き店舗数や形態に関する実態調査を実施する。</p> <p>【目標値】調査の実施 6月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>R2.4～6月に臨時職員の応募及び雇用、チェックシートの作成 R2.6月より調査開始 R2.11月 中間とりまとめ R3.3月 最終結果とりまとめ</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施したが、コロナウイルス感染症の影響により、事業の着手を見送ることとした。</p>	<p>・臨時職員1名の募集をハローワークを通じ行っていたが、応募がなく、新型コロナウイルス感染症の発生により、経済対策事業を優先し、今年度は、臨時職員の雇用を行わず、事業自体の実施を見送ることとした。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対策を優先し、今年度での事業実施を見送る。</p>
3. 空き店舗バンク事業	<p>【当初】 空き店舗情報を一元化し発信する仕組みづくりを構築する。</p> <p>【目標値】登録のスキームを作る 6月末実績：-</p> <p>【実施主体】 香南市 香南市商工会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興</p>	<p>R2.5月から9月に宅建協会や地域支援課等と協議を行う R2.11月 空き店舗バンク要綱等制定 R2.12月より空き店舗バンク開始(市HP等を活用し情報発信)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・空き店舗実態調査の実施ができていないため、具体的な取り組みを行えていない。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援等を優先したため、空き店舗バンク創設に向けた具体的な取り組みができていない。</p>	<p>・空き店舗実態調査を基に、空き店舗バンクへ登録することを検討していたため、今年度での事業実施を見送る。</p>	

空き店舗活用に向けた取り組み	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【目標値】 補助金利用件数 (2件) 6月末実績 : 0件 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗を活用した創業を支援する。 市HPや広報誌での情報発信 不動産業者や金融機関への補助事業の説明 【6月末までの取り組み状況】 ・市HPへの掲載 ・問い合わせ : 1件	問い合わせが1件あったものの、業種が合致せず申請に至っていない。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、不動産業者や金融機関へ事業内容の説明を実施する。
	5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致 【目標値】 誘致企業数(2件) 6月末実績 : 1件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 地方への進出を検討している首都圏企業に対して、補助制度や物件等を提供することで、市への企業誘致を図る。 イシン(株)との連携による首都圏企業訪問(3回) 空き店舗等の物件調査(随時) 香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金の活用 【6月末までの取り組み状況】 合同会社NGS が道の駅やすE棟に立地 (4/1操業開始) ※ 地元雇用2名(7月末時点) オンライン交流イベント(ITの仕事×ライフスタイル)への参加(7/29)	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏企業訪問は見送ることとした。 4月に予定していた立地検討企業による香南市視察も延期となった。	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、首都圏企業訪問を実施する。 また、空き店舗等の物件調査や立地企業の雇用支援を引き続き行っていく。
◆ 担い手の確保・育成				
担い手確保に向けた取り組み	1. 事業承継の推進 【目標値】 アンケート調査の実施 6月末実績 : 0件 【実施主体】 香南市 香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗実態調査とあわせて、既存事業者に対してアンケート調査及びヒアリング調査を実施。 事業承継ヒアリングシートの作成 R2.6月より調査開始 適宜、事業者の同意が得られれば、事業引継ぎ支援センター等への情報提供を行う 【6月末までの取り組み状況】 R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の着手を見送ることとした。	空き店舗実態調査と合わせ実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の発生により、経済対策事業を優先した。 今年度は、臨時職員の雇用を行わず、事業自体の実施を見送ることとした。	新型コロナウイルス感染症の対策を優先し、今年度での事業実施を見送る。
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【目標値】 利用件数(5件) 6月末実績 : 0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 工業分野、観光分野	【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) ・企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し利用促進を図る。 【6月末までの取り組み状況】 R2.4.1付けで補助金交付要綱の一部改正。 (改正内容:対象年齢引き上げ) 市HP掲載を実施	補助金の交付要綱を一部改正し、対象者の範囲を広げたが、申請に至っていない。(問い合わせ1件)	企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、学校や成人式の際にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。
	2-2. 人材ニーズの掘り起こし 及び発信 【目標値】 仕事情報件数 (5件) 6月末実績 : 0件 【実施主体】 香南市 【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野 移住 県 物部川アクションプラン NO.15 野市町中心商店街の振興	【当初】 空き店舗実態調査とあわせて、市内事業者が求める人材ニーズや仕事内容の調査を行い、移住フェア等で発信する。 R2.6月より調査開始 適宜移住フェア等での発信や無料職業紹介所への掲載を行う 【6月末までの取り組み状況】 R2.3月下旬から5月上旬まで会計年度任用職員の募集を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の着手を見送ることとした。	空き店舗実態調査と合わせ実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の発生により、経済対策事業を優先した。 今年度は、臨時職員の雇用を行わず、事業自体の実施を見送ることとした。	新型コロナウイルス感染症の対策を優先し、今年度での事業実施を見送る。

空き店舗活用に向けた取り組み	3. 創業支援事業計画の見直し	【当初】 市が創業支援事業者(商工会、金融機関等)と連携し、専門家による支援等を実施し、創業される方や創業後間もない方を支援する計画。 (特定創業支援事業の認定を受けることで登録免許税の減額等の措置がある)	新型コロナウイルス感染症の対策を優先し、更新に向けた取り組みができていない。	R2.9.11までに素案を国に対して提出する必要があるため、商工会等と認定期間等の更新に向けた協議を行う。
	【目標値】 創業者数(6件) 6月末実績：0件	【実施主体】 香南市 香南市商工会		
	4. 創業支援利子補給金事業	【当初】 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1%に相当する額を補給する。 (補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限)	市HPへの掲載に留まっているため金融機関等への事業紹介を実施する。	金融機関等に事業紹介を行い、周知に努める。
	【目標値】 利用件数(4件) 6月末実績：0件	【実施主体】 香南市		
	【連携する分野】 - 工業分野、観光分野	【6月末までの取り組み状況】 未着手		
	【6月末までの取り組み状況】 市HPへの掲載			
◆ 商業支援				
商業支援	1. 緊急融資保証料補給金事業	【当初】 市内中小企業者が県緊急融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して補給する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ対策の融資制度(無利子・無保証料)が打ち出され、新規の利用はなし。	引き続き、金融機関等と連携し、制度の周知に努める。
	【目標値】 新規利用件数(1件) 6月末実績：0件	【実施主体】 香南市 高知県信用保証協会		
	【連携する分野】 工業分野、観光分野	商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者にも周知を図る 市HPや広報誌での情報発信		
	【6月末までの取り組み状況】 高知県信用保証協会と契約締結 市HPへの掲載			
	2. 各種セミナーの開催	【当初】 経営等に関する様々なセミナーを開催することで、経営者や従業員のスキルアップを図り、事業の維持・発展につなげる	新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナー等の開催を実施していない。	・日本統一QRコード「JPQR」の説明会を開催(9月) ・コブテによるナリワイセミナーをふれあいセンターで実施(9月より 計5回)
	【目標値】 開催数(2回) 6月末実績：0回	【実施主体】 香南市 香南市商工会		・各機関が実施するオンラインセミナーの情報発信と有効活用を図る
	【連携する分野】 工業分野、観光分野	R2：2回実施		・商工会会員限定の講習会を開催予定(12月)
	【6月末までの取り組み状況】 JPQR説明会を国に対して申請済			
	各機関が行うオンラインセミナーの周知を実施			
	3. 香南カーニバル事業	【当初】 商業の活性化を目的に、主に飲食店を中心に短期間のグルメイベント「香南カーニバル」を継続して開催する。	新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けている飲食業等の「事業の継続」と「市民等の外食控え」を強力に後押しするため、プレミアム付商品券の飲食版の形で香南カーニバルを実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響が今後どうなるか不透明ではあるが、本年11月から12月にかけて事業を実施できるように、準備等を行っていく。
	【目標値】 参加店舗数(45軒) 6月末実績：0軒	【実施主体】 香南市商工会 地域事業者		
	【連携する分野】 農業分野、水産業分野、 観光分野	新聞折込、HPやSNSを活用した情報発信 他市との差別化を図るために、協賛企業提供による協賛品の特典を継続 女性限定メニューや市特産品を活用したメニューを取り入れた店舗の継続 タクシーへの利用可能を継続し、周遊を促進		
	【6月末までの取り組み状況】 ・香南バル実行委員会の開催 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が飲食業等に対して大きいため、これまでのバルとは異なった形で実施する。 ・7,000円分のチケットを3,000円で購入できる。 (うち1,000円はタクシーチケットとしてタクシーや運転代行に利用可能)	※R3以降に同内容のバルイベント開催は未定であるが、活性化に向けた商業イベントを実施予定		

商業支援	<p>4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業】</p>	<p>【当初】 R2 カタログ4,400千円 + ふるさと納税額 100,500千円 計 100,940千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が全て中止となり、県内外の顧客へ向けた直接のPRができていない。</p>	<p>複数の季節商品やオススメ商品を1箱に詰合せた詰合せの販売やHPサイト「土佐香南まるごと旨市」の利便性や魅力等を向上させるリニューアルを行う。</p>
	<p>【目標値】 事業者売上額:100,940千円) 6月末実績 :35,676千円</p> <p>【実施主体】 香南市観光協会 香南市</p> <p>【連携する分野】 農業分野、水産業分野、 観光分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.14 香南市における特産品づくりと販売の促進</p>	<p>R2: 県内外のイベント等での特産品販売を行うとともに、各種ふるさと納税サイトやカタログ等のPR冊子で情報発信することで商品や市の認知度向上を図る。 コラボ商品や季節商品の企画による商品数の増加を図り、魅力度向上を図る。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業者開拓や期間限定コラボセットの開発 ・れんけいこうち事業等を活用した販路開拓 日曜市へ出店(7/12) 		

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
製造品出荷額	360億円	一億円	-	
新規雇用者数	5人	16人	A	

※ 製造品出荷額は、工業統計調査(調査年は前年度の製造品出荷額)のR元年工業統計結果

※ 新規雇用者数は、市内立地企業に新たに雇用された市在住の方の数

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対する総評)

【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C)
 製造品出荷額360億円の目標値に対し、令和元年実績の工業統計調査結果は未だ公表されていないことから、R2年6月末現在の評価は示していない。
 また、新たな数値目標である新規雇用者数については、4月1日現在で16人の新規雇用があり、目標数値を上回っていたことから、評価を(A)とした。
 戦略の柱である「企業誘致の促進」については、新規工業団地の候補地を選定するため、適地調査に着手した。また、川谷刈谷地区工場用地については、分譲用地の地積更正及び合筆手続きに不足の日数が生じてはいるが、分譲面積が確定次第、公募を予定している。
 一方、「既存企業の育成・支援」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内事業者への緊急経済対策を優先し、資金繰りの困窮や売上減少等、事業の継続が困難な状況を乗り越えるために必要な支援策を講じた。なお、商談会やものづくり教育推進事業については開催を見送るとともに、取り組み予定であった各種支援事業についても、企業訪問を自粛したことから十分な周知に至らなかった。

【R2.6月以降の取組について】(A)
 「企業誘致の促進」については、新規工業団地の場所選定に向けて、適地調査を継続するとともに、川谷刈谷地区工場用地についても早期分譲を目指す。また、立地企業の設備投資に伴う負担を軽減するため、企業誘致条例を改正し、支援制度の充実を図っていく。
 「既存企業の育成・支援」については、引き続き国・県・市が行う経済対策により、集中的な支援を継続して行うとともに、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。また、下半期に予定している懇談会や合同企業説明会を開催し、各種支援事業の紹介や雇用支援にも取り組んで行く。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
企業誘致の促進	◆ものづくりの基盤整備			
	1. 新規工業団地整備事業	【当初】 新規工業団地を整備するため、候補地の選定と適地調査を行う。 R2: 工業団地適正地検討資料作成委託業務 工業団地基本構想委託業務 【6月末までの取り組み状況】 ・香南市工業団地適正地検討資料作成委託業務を発注(6/1契約) ・平成26年度調査時に選定された3箇所と、今回の調査で2箇所を候補地として選定し、計5箇所の中から新規工業団地の場所を決定することとした。	・新規候補地2箇所の選定基準については、以下の①②に重点をおいて調査を行う必要がある。 ①津波浸水エリアを除外(嵩上げ等の造成工事費過多) ②分譲面積は5ha以上必要(県との共同開発条件) ・新規工業団地の場所決定後、県の補助金を活用して基本構想委託業務を発注する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、県が予算を削減したため、本年度は行えない。 (R3年度に実施予定)	5箇所の候補地について、以下の①～④に重点をおいて新規工業団地の場所を決定する。(R3年3月 決定予定) ①面積 ②概算工事費 ③法指定状況 ④交通アクセス
	2. 川谷刈谷地区工場用地の分譲	【当初】 川谷刈谷地区工場用地(旧ルネサス東駐車場用地)への企業誘致を実施。 R2.4 : 公募開始予定 (分譲開始予定) R2年度中: 分譲完了を目指す 【6月末までの取り組み状況】 ・分譲用地の地積更正及び合筆	分譲予定地の面積を確定するための地積更正及び合筆手続きに不足の日数が生じたため、早期の分譲開始とならなかった。	・公募要領の作成 ・財産処分議案提出(9月議会予定) ・9月より分譲を開始し、早期の企業立地を目指す。
	◆企業誘致支援制度の見直し			
1. 香南市企業誘致条例の改正	【当初】 以下の現行の支援制度の見直しを行う。 (※ R3年度より新支援制度施行予定) ・香南市企業誘致条例による助成金(固定資産税の25%(3年間)) ※要件: 投下固定資本額3千万以上、市内在住者及び在住予定雇用20%以上 【6月末までの取り組み状況】 ・他市町村の企業誘致条例や支援制度の情報収集	更なる製造品出荷額の増加を図るため、立地企業の設備投資に伴う負担を軽減し、雇用の創出や生産性の向上、税収の確保に繋がる支援制度を策定する必要がある。	R2年度中に条例改正予定	

◆ 中小企業の技術向上&経営革新の支援				
既存企業の育成・支援	1. 商談会開催事業	【当初】 市内のものづくり企業に高知県産業振興センターが主催する商談会への参加を促し、受注拡大を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により商談会の実施はないものの、7月2件、8月1件の開催予定であり、巻き返しを図っていく。	引き続き高知県産業振興センターと連携し、企業訪問等により商談会参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。
	【目標値】 商談件数(件) 6月末実績：-	【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター	【6月末までの取り組み状況】 ・香南市商談会開催事業費補助金交付決定済(4/1) 補助金交付決定額 ¥196,350-	
	【連携する分野】 -			
既存企業の育成・支援	2. 中小企業者の生産性向上支援事業	【当初】 市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたくうえで実施する設備投資に係る固定資産税を3年間ゼロにする。	新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の設備投資意欲が冷え込んでいることから、申請件数が伸び悩み、目標値に届いていない。	・香南市先端設備等導入支援事業費補助金により、企業の設備投資に係る負担を軽減することで認定件数の増加を図る。 ・企業訪問や懇談会による周知 ・商工会と連携し、商工会会員への周知
	【目標値】 先端設備等導入計画認定件数(30件) 6月末実績：1件	【実施主体】 香南市	【6月末までの取り組み状況】 ・市HP掲載 ・先端設備等導入計画認定件数1件 ・コロナ支援策として対象期間をR5年3月まで2年間延長(国) ・香南市先端設備等導入支援事業費補助金を制定	
	【連携する分野】 -			
既存企業の育成・支援	3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金)	【当初】 市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助する。(補助率1/2)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため企業訪問を実施しておらず、また研修延期等が想定されたことから十分な周知、取り組みができていない。	企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、引き続き高知職業能力開発短期大学校と連携し、事業利用件数の増加を図る。
	【目標値】 利用件数(5件) 6月末実績：-	【実施主体】 香南市	【6月末までの取り組み状況】 ・市HP掲載 ・補助申請手続き中1件	
	【連携する分野】 商業分野			
既存企業の育成・支援	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)	【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間)	補助金の交付要綱を一部改正し、対象者の範囲を広げたが、申請に至っていない。 (問い合わせ1件)	企業訪問、懇談会等で周知を行うとともに、学校や成人式の際にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。
	【目標値】 利用件数(5件) 6月末実績：-	【実施主体】 香南市	【6月末までの取り組み状況】 ・補助金交付要綱の一部改正(改正内容:対象年齢引き上げ) ・市HP掲載	
	【連携する分野】 商業分野、観光分野			
既存企業の育成・支援	5. 合同企業説明会の開催	【当初】 企業合同説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定住を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響により開催時期は遅れたが、オンラインブースを設け開催予定。 城山高校での合同企業説明会は2年生を対象とし、就職の選択肢の一つとして市内企業を存知してもらう。	城山高校での合同企業説明会 (R3年2月開催予定) ※1月中旬までに参加企業のとりまとめ
	【目標値】 開催回数(2回) 6月末実績：-	【実施主体】 香南市 高知県	【6月末までの取り組み状況】 ・合同企業説明会の開催予定(9/18)	
	【連携する分野】 -			
既存企業の育成・支援	6. ものづくり教育推進事業	【当初】 次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。	新型コロナウイルス感染症による休校や校外活動自粛のため、現時点で問い合わせはなく、学校行事を通じての実施の見込みはなし。	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、引き続き事業周知を行うとともに、新しい生活様式に配慮した工場見学、体験学習の実施を検討する。 夏休み等の長期休暇を利用した募集型の工場見学、体験学習の開催についても検討する。
	【目標値】 工場見学やものづくり体験学習実施回数(1回) 6月末実績：-	【実施主体】 香南市	【6月末までの取り組み状況】 ・R2年度中に実施(1回) ・市教委が開催する7月の所属長会で学校へ事業案内を行う。	
	【連携する分野】 -			

令和2年度の取り組み計画 【観光分野】

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
観光施設入込客数	107万人	42.9万人	-	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。(暦年 1-12月の合計)

【対象10施設】
 ①県立のいち動物公園:59,594人 ②月見山子どもの森:11,942人 ③ヤ・シィパーク:150,184人 ④絵金蔵:1,271人 ⑤天然色市場:0人 ⑥やすらぎ市:108,172人
 ⑦あぐりのさと:9,963人 ⑧黒潮温泉:42,129人 ⑨創造広場「アクトランド」:20,154人 ⑩土佐カントリークラブ26,315人

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C)
 数値目標107万人に対し、実績値が42.9万人(達成率40%)であり、前年度比79%となった。
 (前年度同時期 54.2万人)
 新型コロナウイルス感染症の影響で特に3月以降は、実績値が26.5万人、前年度比68%となった。
 (前年度同時期 38.6万人)
 個々の取組としては新型コロナウイルス感染症により、観光人口の減少・イベントの中止の影響がKPIに影響を及ぼしている。

【R2.6月以降の取組について】(A)
 新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる市内における観光需要喚起策として、感染の状況を見極めつつ、「香南市に泊まってもらおうクーポン券配布事業」、「香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業」、「香南市観光テレビで全国PR事業」を行う。
 また、「宿泊事業者支援給付金」、「タクシー・観光バス事業者支援給付金」事業を実施し、宿泊施設や、タクシー・観光バスでの衛生管理対策や魅力向上することにより、観光客が安心して香南市で、周遊・宿泊できることで、誘客促進および観光産業の回復を図る。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
香南市観光の発信	◆ 情報発信手段の効果的な活用			
	1. 香南市のPR活動の強化 【目標値】 イベント参加数 25回 (日曜日+高知新港PR 参加回数) 6月末実績: 0回 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】 -	【当初】 観光客や外国人の来訪が期待される日曜日と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 【日曜日】 : R2年度 … 15回/年 【高知新港】: R2年度 … 10回/年 【6月末までの取り組み状況】 【日曜日】 : R2年度 … 0回/年 4/19出店予定はキャンセル、以降出店なし 【高知新港】: R2年度 … 0回/年 6/5出店予定はキャンセル	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、日曜日は4.19の開催が中止となった。 また、5.10～5.31までは時短営業を実施していることから、市町村からの出店については自粛要請があったので出店していない。 (県内の感染状況が落ち着いていることから6/7から日曜市の通常営業に伴い市町村からの出店も再開している) 高知新港でのイベント出店も6/5に出店できる旨を連絡していたがその後の連絡がなくキャンセル。 以降新型コロナウイルス感染症の影響により、高知新港への寄港がないため行っていない。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、事業を実施していく。 (参考) 日曜日 7/12、8/2に参加
	2. 香南市のPR活動の強化 【目標値】【HPアクセス件数 (125,000件)】 (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計) 6月末実績: 訪問者3,708件、閲覧数6,898件 計 10,606件 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】 -	【当初】 コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、HPへのアクセスを誘導するステッカー・ポスターを配布し観光情報を広く発信する。 R2 : タブレット端末からの閲覧・外国語に対応したHP作成 (事業主体:(一社)香南市観光協会) R2.6月: Guidoor(多言語観光サイト)への香南市ページ開設 (事業主体:香南市) 【6月末までの取り組み状況】 コロナ発生により営業時間短縮や弁当販売、自粛をする飲食店情報をHPにて一覧にし、公開。 また、コロナ禍の飲食店の情報収集・情報掲載の際に、グーグルマップにも情報を落とし込んだ。 また、香南市のイベント情報で中止等になったものは、わかり次第トップページにまとめ、掲載を行った。 香南市観光施設連絡会からのイベント情報は自粛期間は積極的な聞き取りをやめ、自粛期間が終了してから再度行った。 また、イベント情報は高知県のよさこいネットにも掲載を行った。 タブレット端末からの閲覧・外国語に対応したHP作成 → 今年度の作成に向けて準備中 (事業主体:(一社)香南市観光協会) Guidoor(多言語観光サイト)への香南市ページ開設 → 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、香南市ページ開設。 (事業主体:香南市)	HPトップページ情報はこまめに更新し、検索したときに最新情報がわかるように取り組んでいる。 HPリニューアルに向けても準備中。	理想のHPの内容等をまとめ、業者選定に移れるように準備を進めていく。

<p>香南市観光の発信</p>	<p>3. SNSを活用した情報発信</p> <p>【目標値】【フォロワー数 (3,500人)】 (LINE+インスタグラム+Facebook) ※ 香南市観光協会の各SNSを対象 6月末実績： 3,972人</p> <p>LINEターゲット511(フォロワー917) Insutagram (7/29まで) 906 Facebook 観光協会 フォロワー 839 Facebook 塩の道 フォロワー 1,166 Facebook こーにゃんフォロワー 502 Facebook マリンF フォロワー 48</p> <p>【実施主体】 (一社)香南市観光協会</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。</p> <p>R2：閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 LINEでは各フォロワーに送信する内容と、タイムラインで流す内容とを意識して区別しながら発信を実施。 基本的にはFacebookをベースに、Instagram・LINEと同じ情報を掲載している。これは各ツールごとにユーザーがいるため。 また、その他の取り組みとして、WEB上の発信は高知県よさこネット、物部川DMO協議会HP、ほっとこうちWEB版にも掲載してもらっている。 (7月からはココハレ(高知新聞)にも掲載)</p>	<p>フォロワー数はこの半年で大幅には増えていないが、ビュー数は良いと思われる。 理由はコロナ禍にあっても香南市のイベントや催しはある方だと思っているので、それらをまめに投稿したり、何気ない香南市の風景や、荒天時の鉄道運休情報等をタイムリーに発信しているからと考えている。</p>	<p>行きたいイベント等があるとHPやFacebook等、ユーザーが使いやすいツールで検索をすると傾向にあることから、現在取り組んでいるSNSの発信を継続し、タイムリーに正確な情報を発信できるように引き続き取り組む。</p>
<p>◆ 核となる観光拠点の形成</p>				
<p>1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト</p>	<p>【目標値】 【道の駅やす入込 (289,000人)】 6月末実績： 68,733人</p> <p>【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進</p>	<p>【当初】 ◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映、適切な維持管理の実施、観光拠点化に向けた運営体制の確立 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 [実施主体:香南市] ・活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討、ヤ・シィパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成、維持管理の継続実施 [実施主体:高知県]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・高知県と協力し、ヤ・シィパーク西のサイクリングロードの開通。(6/6) ・(株)ヤ・シィ、香南市、高知県の3者協議を実施(6/16) ・レンタサイクル事業(6月末時点 0名)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当初予定していた以下のイベントや会議は全て自粛となった。 また、GWについても緊急事態宣言発令に伴い、(株)ヤ・シィ直営店他、各テナントも活動自粛となったため、入込客数についても大幅に減少となっている。 協議の場については、新型コロナウイルスの影響により、関係機関による協議を進めることができなかった。</p> <p>今後、ヤ・シィパークの施設運営が安定かつ円滑に行えるよう、運営方法や管理体制を含め施設整備計画を検討していく必要がある。</p> <p>(自粛したイベント等) ・ヤ・シィパーク活性化推進協議会の開催 ・ランドデザインを基にした事業着手(再調整中) ・グランピングテント等を活用したイベントの開催 ・ヤ・シィファミリーキャンピング(4/27～5/5) ・YASU海の駅クラブと連携したマリンアクティビティの提供(6月末までにマリン体験受入 5人) ・マリンスポーツ体験会</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に終息の目途がたっておらず、手結盆踊り、花火大会、マリンフェスティバル等の入込客数が見込めるイベントが軒並み中止を余儀なくされているが、現在、Withコロナにおける安心安全な野外イベントの開催について検討を進めており、秋の自主イベント開催を目指していく。</p> <p>ヤ・シィパーク整備に向けた方向性の検討にあたり、H30ランドデザイン、R元の検証事業を踏まえ、活性化協議会、(株)ヤ・シィ、市、県による協議を実施する。</p>
<p>観光の育成に向けた取り組み</p>	<p>1-2.ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト (manamana)</p> <p>【目標値】 【売上高(54,611千円)】 6月末実績： 5,189千円</p> <p>【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進</p>	<p>【当初】 ◆売上アップに向けた取り組みの強化 ・内部の体制強化 店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスバーの生産体制の強化、ミーティングの実施 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・店舗の周知 イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・外販の強化 商談会への参加、外商活動の強化 [実施主体:株式会社ヤ・シィ] ・販売機会の増加のための「れんげいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 [実施主体:香南市] ・新商品開発や店舗の経営改善のための産振アドバイザー制度の活用、商談会やコンテスト等の情報提供・研修会の案内、販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 [実施主体:高知県]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 店舗の周知 ○ イベントへの出店・出品 ・新型コロナウイルスの影響による出店予定イベントの中止、どろめ祭り(4/26) 【6月～】・観光コンベンション協会こうちアイスクーポンへ参加(ヤ・シィフルーツ) ○ 情報発信 【6月】・香南ケーブルテレビ(1ヶ月間放送)</p> <p>外販の強化 ○ 商談会への出展 ・新型コロナウイルスの影響による出展予定商談会の中止・高知県産品商談会(6/3) 【6月】まるごと高知との商談(6/30) ○ 新規成約 【6月～】ミニストップ(株)(千葉県、カタログ:夏ギフトに採用) ○ 商品開発 ・ランチメニューの開発を実施(夜須町産トマトを使った、パスタ、ピザ、ハンバーグ) ・高島屋のお歳暮用商品開発(夜須町産メロンを使ったアイスバーの開発)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、カフェメニュー、アイスバー等の店舗での売上やイベント出店分の売上が大幅に減少しているため、外販を強化することにより、安定した売上を確保する必要がある。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当初予定していた以下のイベントや商談は全て自粛となった。 さらに、GWについても緊急事態宣言発令に伴い自粛し、現在もソーシャルディスタンス確保のため、客席を間引きしての営業となっているため、売上は大幅に減少している。</p> <p>(自粛したイベント等) ① 商品開発 ・地域おこし協力隊による期間限定カフェメニュー(5/20～5/26) ② 外販強化 ・商談会への参加 ・イベント出品</p>	<p>外販強化のためには衛生管理体制の強化は必須であるため、高知県版HACCPの取得に取り組む必要がある。 また、アイスバーの生産体制の強化も必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に終息の目途がたっておらず、客席数を減らした営業の継続が続き、店舗売上の向上は見込めないため、リモート開催の商談会等に積極的に参加し、外販の強化を図っていく。</p> <p>・運営体制強化のためのOJTによる人材育成 ・リモート商談会への参加による外販強化 ・売上増に向けた店舗の新メニュー開発及びPR戦略の検討</p>

	<p>2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業]</p> <p>【目標値】 醸造所建設等 6月末実績： 予定通り進んでいる。</p> <p>【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県 香南市</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進</p>	<p>【当初】 R2.: 造成及び醸造施設 建設 等 R3.: 醸造開始 R4.: グランドオープン</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R3年 2月の竣工を目指し、事業を推進。</p> <p>(4月) ・ 香南市産業振興推進総合支援事業費補助金 交付決定 ・ 醸造所建築に係る入札を実施 ・ 起工式の実施</p> <p>(5月) ・ 対象地の造成を開始</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、建築許可を発行する部署の人員が一時的に減る等の影響から、許可までに時間を要し、スケジュールに後れが生じている。</p>	<p>今年度の竣工に向け、粛々と事業を進めていく。</p>
◆ 広域観光の推進				
<p>観光の育成に 向けた取り組み</p>	<p>1. 物部川エリア観光連携事業</p> <p>【目標値】 【対象9施設入込客数 (777,000人)】 6月末実績： 36,323人</p> <p>【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.20 物部川地域における広域観光の推進</p>	<p>【当初】 ◆ 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 R2～R3:物部川DMO協議会の組織体制の強化 ・ 日本版DMO登録に向けた取組の推進及び登録 ・ マーケティング機能強化 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6:物部川広域観光振興中期計画の更新及び集客戦略の立案・実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] R3～R6:地域内での連携体制の整備・運営 ・ 物部川流域圏内の観光地域づくりを行うため、市や観光協会を窓口とした連携体制の整備及び運用 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会、(一社)香南市観光協会、香南市]</p> <p>◆ 観光商品の充実 R2～R6 :観光商品の充実 ・ 関係団体や事業者、大学等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘 ・ 磨き上げや、土佐の観光創生塾等を通じた商品づくりへの支援 ・ 物部川流域圏内での周遊ツアー、地域イベントを組み込んだツアー商品等、旅行業を活用した旅行商品の企画造成 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・ 関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源(体験メニュー等)の発掘・磨き上げや土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり [実施主体: (一社) 香南市観光協会]</p> <p>◆ 観光客の広域誘致 R2～R6 :戦略的なセールス・PR ・ ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施 ・ ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施 ・広域観光パンフレットやHP、SNS等を活用したエリア情報発信の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会]</p> <p>◆ 地域連携による周遊促進 R2～R6 :連携企画等の実施 ・ 圏域一体での観光地域づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携による企画等を実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会]</p> <p>◆ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 R2～R6 :連携企画等の実施 ・ 広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報の共有のためのエリア内研修の実施 [実施主体: (一社)物部川DMO協議会] ・ 県等が実施する研修の情報提供 [実施主体: 高知県]</p> <p><対象施設> 南国市： 西島園芸団地、高知県立歴史民俗資料館 香南市： 高知県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵 香美市： 香美市立やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート</p> <p style="text-align: center;"><※6月末までの取り組みは次ページ></p>	<p>R2.3月より、新型コロナウイルスのため、当初予定していた事業の実施が叶わず、延期もしくは中止を余儀なくされた。今までの観光と違い少人数規模での観光(マイクロツーリズム)にシフトしていくと考えられ、それに対応できるような受入体制を構築するために、必要な事業を検討しなくてはならないと考える。</p>	<p>9月に開催予定となっている「高知県観光説明会」を皮切りに、県外観光客誘致のセールス活動については一定開催の方向性を持っているが、コロナ情勢により変化していくと考えられる。また、9/20日以降に高知新港に寄港予定のクルーズ船もあることから、高知市に次いでOPツアーコースの多いものがわエリアでは、観光のお客様が安心、安全であるのみならず、受け入れる観光施設の方々も安心安全が必須となると考えられ、受入側の環境整備が整う = 送客側(旅行エージェント、船会社、お客様等)も感染防止対策をしっかりと実施いただくための、ガイドライン、衛生認証制度等を設置していく。(現在作成中)</p> <p>今一度、県内誘客について考えなおす必要がある。</p> <p>◆ 主なセールス活動(予定) ・9月 高知県観光説明会(大阪) ・11月 四国DCキャンペーンセールス(高松) ・R3.1月 ツーリズムEXPOJAPAN(東京) ※ 海外セールスについては検討中。</p> <p>◆ 旅行商品の造成販売 造成:継続して実施/販売:情勢を見ながら販売</p> <p>◆ 6次化事業 ・ 商品販売(8月下旬販売開始予定) ・ 同時にキャンペーンを実施し、物流での地域観光PRを実施。収束後の観光客誘致につなげる。</p>

観光の育成に向けた取り組み	<p>〈前ページ参照〉</p>	<p>【6月末までの取り組み状況】</p> <p>南国市：西島園芸団地4,649人、高知県立歴史民俗資料館4,431人 香南市：高知県立のいち動物公園14,896人、創造広場「アクトランド」3,633人、絵金蔵217人 香美市：香美市立やなせたかし記念館3,662人、龍河洞3,343人、べふ峡温泉1,498人、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート7人</p> <p>◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域観光推進のための強化策として、各市(3市)の観光施策を広域観光に反映していくための連絡会の設置をR1年度より検討。 H27年度より実施している香南市観光施設連絡会と同じ機能を持たせるものとして、香美市観光協会(委員会)内で広域観光について協議を行い、提案していく事が決定した。(南国市については検討中) 日本版DMO登録に向けての取組みの一環として、顧客満足度調査等を含むエリア内アンケートの実施準備を行った。(8月中旬より実施予定) <p>◆観光商品の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 本年度より販売予定であった旅行商品(着地募集型企画旅行)に関しては、新型コロナウイルス感染症による様々な影響等を鑑み、中止の判断となった。また、情勢が日々変化していく中で観光の在り方について検討しながら商品造成を行う必要性があり、R元年度までに造成した商品については、形を変えた商品として販売することとした。(販売開始についてはコロナ情勢により判断する) 観光創生塾での商品づくり 各市ご担当者、観光協会と協力し、地域観光の舵取り約を担う人材育成、を目的としている観光創生塾内で、「安心、安全にエリア観光を楽しんでいただく」ための商品造成を企画、提案。(7月より開始) 高知大学地域協働学部との連携 コロナ情勢のため、休止中。 (目処が立てば、昨年度より受入の4名の学生と共に旅行商品の造成を実施していく) 旅行商品の企画造成のためのエリア内観光施設等との契約開始 旅行商品の充実を図るために、各観光施設、宿泊施設等との契約を開始(6月より実施) <p>◆観光客の広域誘致及び周遊促進のためのPR活動等</p> <p>4月以降、予定していたセールスについては全中止。7月開催予定であった海遊館での誘客促進PRイベントも中止が決定。そのためOTA活用のための情報提供及びセールスを計画(セールスについては7月に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した情報発信を充実。観光で「人」が動けないために「情報発信＝ものべがわエリア観光のファン獲得」の充実を図った。 SNSキャンペーンと称し情報発信のためのアンケート調査等を実施 (期間:5月18日~6月14日 新規登録者数:338名) <p>◆物部川流域の観光に携わる方々の研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> DMOの先進地視察先として予定していたナババレーについては中止。 研修先を日本国内に変更(三重県鳥羽市)8月実施のための準備を行った。 ※ コロナ情勢のため1月以降に延期。 	<p>〈前ページ参照〉</p>	<p>〈前ページ参照〉</p>
	<p>◆ スポーツツーリズムの推進</p>			
	<p>1. サイクルイベントの開催</p> <p>【目標値】 サイクルイベント参加者数(500人) 6月末実績：0人</p> <p>【実施主体】(自転車) NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cle (一社)香南市観光協会 (一社)物部川DMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 香南市</p> <p>【連携する分野】 サイクリング専門委員会</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</p>	<p>【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 R2：イベントの開催 (三宝山ヒルクライム、ツール・ド・トレイン、ポタリング、シクロクロスカップ) [実施主体： NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle、高知県シクロクロス実行委員会] ※ 事業詳細は「サイクリング分野」の資料を参照。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三宝山ヒルクライム(10月開催予定)：新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ツール・ド・トレイン(5/16開催予定)：新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ポタリング：新型コロナウイルス感染症のため、密にならない方法を模索し、7月から再開する。 7/11 カフェライド … 中止(雨天のため自転車講習会へ変更) 8/8 カフェライド シクロクロスカップ：10月に物部川河川敷を会場に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため開催するかについて検討をしている。 3市ロングライド：来年度の開催について、(一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで検討中。 健康サイクリング：新型コロナウイルス感染症の影響を考え、開催予定の4月、5月、9月、10月のうち2回を中止 4月：中止 5月：中止 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で今年度の6月末までに計画をしていたイベント等はすべて中止になっていることから、数値目標である「サイクルイベント参加者数」の実績は0となっている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各イベントは中止となっており、今年度より検討を行っていた、三宝山ヒルクライムも中止となった。 来年度も三宝山頂上が使用できるか不明なため、「三宝山頂上」を使用するのヒルクライムは難しいと考えているが、コロナ禍でも、軽度な運動等は推奨されていることから、今後は、大規模ではなく、小規模のポタリングや健康サイクリング等から準備を行い、開催につなげていく。 また、健康サイクリングに関しては当初の開催時期を見直し、10月に3回開催する。 今後、イベント時だけ乗ってもらうのではなく、通勤等日常的に乗ってもらえるような仕組みづくりを行っていきたい。</p>

	<p>2. 塩の道を活用したイベントの開催</p> <p>【目標値】 塩の道を活用したイベント参加者数(440人) ① トレイルランニングレース ・38kmコース：200人募集(7/1エントリー開始)</p> <p>②30kmうおーく:100人</p> <p>6月末実績：0人</p> <p>【実施主体】 (一社)香南市観光協会 土佐塩の道保存会</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</p>	<p>【当初】 塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加をはかる。</p> <p>R2.10月：塩の道トレイルランニングレース開催 [実施主体：(一社)香南市観光協会] R3.3月：30kmうおーく開催 [実施主体：土佐塩の道保存会] ※ 前日イベントの開催(講師を招いての講習会・交流会等を実施) ※ ITAR(国際トレイルランニング協会)への登録</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 土佐塩の道トレイルランニングレースを実行委員会形式で行うべく、規約等を整備して立ち上げた。(実施主体は香南市観光協会)コロナ発生に伴い、土佐塩の道保存会と協議して38kmミドルコース1本としバスを使わず募集人数も200名とした。コロナ禍でもランナーにも楽しんでもらい、事業所にも負担をかけないように開催するために、昨年まで協賛としていただいていた商品を、市の補助金から購入できるように、商工観光課に相談し、補助金からの購入が可能となった。スポーツ庁・日本トレイルランニング協会・日本トレイルランナーズ協会等のガイドラインを参照し大会概要を作成した。7月1日の募集開始に向けて募集サイトの変更、広報等を行った。</p> <p>JR四国駅からウォークにR3年の土佐塩の道30kmウォークを申請、情報を香美市地域づくり企画員と共に進めた。 R2.10月：塩の道トレイルランニングレース開催 [実施主体：(一社)香南市観光協会]</p>	<p>コロナ禍の中でも中止とするのは簡単だが、出来る方法を見つけて取り組んでいくということが、香南市観光協会と土佐塩の道保存会でも同じ意見であったことから、募集開始まで進めることができた。募集前から多くの問合せがあり、コロナで各地の大会が中止になったことでどこかで走れる場はないかと探しているランナーが多かった。今後、大会の開催までにコロナ対策の整理を行っていく。</p>	<p>7/1の募集開始がスムーズにいくように取り組む。多くの方のお力を得て感染症対策・大会運営を行うべく、スポーツ推進員さん等にも声をかけ協力依頼を行う。感染症対策を徹底的に取り組んでいく。</p>
	<p>3. マリンスポーツの推進</p> <p>【目標値】 大会参加者数+マリン体験の参加者数(230人) 6月末実績：5件(71人)</p> <p>【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ</p> <p>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</p>	<p>【当初】 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用した大会を開催するとともに、来訪者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギーヨット等)を実施し、マリンスポーツの推進をはかる。</p> <p>・香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用したマリンスポーツ大会の開催 R2.5月 龍馬カップ(ヨット大会) R2.9月 アクセスディンギー ハンド in ハンド R2.10月 ヤ・シィ カヤックマラソン(シーカヤック)</p> <p>・香南市マリンスポーツ施設・ヤ・シィパーク等関係施設と関係団体の連携による沿岸域 を利用したスポーツツーリズムの体験メニュー構築 [実施主体:NPO法人YASU海の駅クラブ] [連携団体:株式会社ヤ・シィ・(一社)香南市観光協会・(一社)物部川DMO協議会]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 この期間は新型コロナウイルスの影響で施設が閉鎖になる期間が長くあり、毎年5月に行っているヨットの大会「龍馬カップ」も延期となった。小学校の体験も2校中止となった。それでも6月に入り新型コロナウイルスが落ち着いてきた事もあり、小学校の受入れを密にならない範囲で行った。</p>	<p>4月～6月は新型コロナウイルスの影響があり、施設が閉場となる期間があり、殆どの活動が出来なかった。そのような状況でも少しではあるが学校の海での体験を受け入れる事が出来た。7月に入り色々な形で海での活動の申し込みがあったが、荒天で中止になる事が多々あった。荒天になった場合に出来る活動の幅を広げていく事がこれからの課題である。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大がまた起こっている状況であることから、YASU海の駅クラブの会員、中学生、高校生が所属している香南ジュニアヨットクラブ、当施設を利用している高知大学ヨット部、その他の海でのスポーツ愛好家に感染させないという事を優先的に考えて活動を行っていく。新型コロナウイルスの対策として陸での活動ではマスクの着用、手指の消毒、活動前の検温をしっかりと行っていく。今後の感染状況により、感染者の多い地域からの受入れを制限する事も考慮していく必要もあることから、何が出来るかを考えて活動していく。また、6月末から海での活動が出来るようになり、学校の体験受入れを積極的に行っていく。ヤ・シィパークでの活動を再開し、色々な広報に載せる事で集客を図りたい。5月に延期になった「龍馬カップ」は9月に開催する方向で進んでいる。その他としてはSUPとフライングディスクを融合したイベント「SUP&フライングディスク体験」を行う予定となっている。毎年9月に開催していた障害者のヨット大会「ハンドinハンド」、10月に開催のシーカヤックの大会「ヤ・シィカヤックマラソン」については新型コロナウイルスの影響を考え中止とした。</p>
<p>◆おもてなしの向上</p> <p>受入体制の強化</p>	<p>1. 香南市案内人会の拡充</p> <p>【目標値】 案内人会会員数 (26人) 6月末実績：24人</p> <p>【実施主体】 香南市案内人会</p> <p>【連携する分野】 -</p>	<p>【当初】 会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。</p> <p>・他団体との連携を強化したガイドの実施 ・高知県観光ガイド連絡協議会HPを活用した情報発信 ・OTA(Online Travel Agent)への登録</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・新型コロナウイルス感染症の影響でガイドの受け入れ実績なし ・高知県観光ガイド連絡協議会総会:書面決議</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催することができなかった。今後は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。</p>	<p>今後は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、香南市案内人会の拡充を図っていく。</p>

受入体制の強化	2.外国人観光客受入研修の実施	<p>【当初】 観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。</p> <p>【開催時期】（講師：民間企業を予定） R2.9月：全体セミナー R2.10月～R3.3月：個別セミナー</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で外国人観光客受入研修の実施ができていない</p>	新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンド観光が激減している。	新型コロナウイルス感染症が世界でも感染拡大し、今のところ終息が見込めない。 また、コロナ終息後の観光客の受入体制についても、コロナ前とは変わることも想定されるため、今年度の開催は見送り、来年度以降の開催を検討する。
	3. アンケート調査の実施（観光地点パラメータ調査）	<p>【当初】 香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。 また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。</p> <p>・調査地点：令和元年の入込客数が1万人以上・もしくは令和元年の特定月の入込客数が5千人以上である観光施設（日常利用・通過型の利用が大半を占めると考えられる地点は対象外）従業者数10人以上の宿泊施設から抽出</p> <p>・調査事項：観光入込客の居住地、性別、年齢、日帰り・宿泊別、宿泊施設、旅行目的、同行者数、市内訪問観光地点名、市内観光消費額単価等</p> <p>・調査周期：四半期毎（1～3月、4～6月、7～9月、10～12月）</p> <p>・実施時期：四半期に含まれる休日1日で、当該四半期の観光入込客の平均的な訪問地点数、観光消費額単価が把握可能と考えられる日。</p> <p>※ 当調査により「市内観光消費額」を算出し、第2期計画の途中から、数値目標として示していきたい。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・アンケートの実施はできていない。</p>	物部川DMO協議会が、webシステムを使った「ものべがわエリア観光客実態調査」の実施を予定しています。その中で、本アンケートに変わる調査の実施を検討・協議をしています。	物部川DMO協議会が、webシステムを使った「ものべがわエリア観光客実態調査」の中で、本アンケートに変わる調査の実施をしていきます。

令和2年度の取り組み計画 【サイクリング】

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
サイクルイベント 大会参加者数	500人	0人	-	
サイクル サポーター数	10団体	6団体	-	

※サイクルイベント大会参加者数は、下記イベント・大会参加者数

【対象イベント・大会】

① 三宝山ヒルクライム ② ツール・ド・トレイン ③ ポタリング ④ シクロクロスカップ ⑤ 3市ロングライド (※R3から) ⑥ 健康サイクリング

※ R2年度に策定する「香南市自転車活用推進計画」において、イベント開催時に、サポートスタッフや出店等をもって取り組む実働をもった参加型サポーター制度を構築する。

サイクルサポーター数は、自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえ事業所・団体を対象する。

■ 取組の総評

【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C)

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベント等はすべて中止になっていることから、数値目標である「サイクルイベント参加者数」の実績は0となっている。
また、サイクルサポーター養成のきっかけづくりも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない。

(6月末) サイクルサポーター数 6団体

①大釜荘、②絵金蔵、③創造広場「アクトランド」、④サイクリングターミナル、⑤道の駅やす、⑥高知県立のいち動物公園

【R2.6月以降の取組について】(A)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント等の開催が中止となっており、当市が今年度より検討を行ってきた三宝山ヒルクライムも来年度以降の実施とすることとしている。
ただし、新型コロナウイルス感染症の推進では、軽度な運動等を推進していることから、今後は、大規模ではなく、小規模のポタリングや健康サイクリング等から準備を行い、開催につなげていく。
また、サイクルサポーターの獲得については、小規模イベントの開催時に要請を図っていくとともに、今後購入を予定しているサイクルスタンドの設置推進とともに要請を図っていく。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後に向けて
観光 (サイクリスト 誘致)	◆ サイクルツーリズムの推進			
	1. レンタサイクル推進事業 【目標値】 レンタサイクル貸出数 (2,500台) 6月末実績： 359台 【実施主体】 サイクリングターミナル のいち駅 創造広場「アクトランド」 WICKS(株) (追加) 神明自転車 (追加) (株)ヤ・シィ (追加) 香南市 【連携する分野】 観光分野 県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組 の推進	【当初】 ■ 自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 香南市サイクリングターミナル外でのレンタサイクルを拡大。 ※サイクリングターミナルを中心とした貸し出しを強化する R2 : 自転車活用推進計画策定 (乗り捨て・施設連携について調整し、可能な施設から実施する) ※R1年度中に実施に向けてモニター中 (絵金蔵) 【6月末までの取り組み状況】 密にならないアクティビティとして少しづつ需要が出てきたことから、6月末の実績は359台の貸し出しとなっている。 しかし、GW等の自粛要請により、例年の貸出数を下回っている。 また、6月から7月にかけて長雨が続いたことから、自粛後の貸出数も減少している。	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う『密にならないアクティビティ』としてサイクリング需要が上がっていたが、観光として楽しむ時期ではないことから、昨年度の利用率と比較すると約60%となっており、本格的な活用には至っていない。	サイクリングターミナルでは、タンデム自転車やクロスバイクの更新、ヘルメットの購入等を行っている。 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle等が主催するツアー等、自転車を持たない人にレンタサイクルを勧め、推進につなげていく。 また、今年度中に夜須町にあるヤ・シィパークにおいて、(株)ヤ・シィがレンタサイクルスペースを常設する予定であることから、貸出数の増加が見込まれる。
	2. サイクリングのPR 【目標値】 PRイベント参加回数 (3回) 6月末実績： 0回 【実施主体】 香南市 (一社)香南市観光協会 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 【連携する分野】 観光分野	【当初】 サイクリングコースパンフレットを作成し、市内外施設・自転車店等での配布を行う。 併せて香南市のHPや各自転車団体の運営するSNSを活用しPRする。 また、県内外のサイクルイベントに参加し、香南市について対面PRを行い、サイクリストの誘致へと図る。 R2.5 : 市内8コースのサイクリングコースを掲載したパンフレットを作成し、配布。 [香南市] ※ キャッチフレーズ「ちりりん香南(仮)」を使用予定 (作成期間は2カ月を予定) ※ 完成に合わせて市HPやSNSでも情報を掲載する [香南市] R2. 8 : シマノ鈴鹿ロードへの参加 [香南市・香南市観光協会] R2.10 : サイクリングしまなみへの参加 [香南市・香南市観光協会] R3. 1 : サイクルパーツ合同展示会への参加 [香南市・香南市観光協会・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle] 【6月末までの取り組み状況】 R2.6.6にヤ・シィパーク西側から香我美町岸本までの700mサイクリングコースが完成し、マスコミ等にプレスリリースを送り、テレビ局3社・新聞社3社に取り上げてもらった。 今後は、物部川コースが完成次第、パンフレットを作成する。 ※現在、道は繋がっているが橋の橋脚造成のため危険な場所がある。 【イベント中止報告】 R2. 8 : シマノ鈴鹿ロード R2.10 : サイクリングしまなみ	新型コロナウイルス感染症の影響により、県内外のサイクリングイベント中止により、PR活動ができていない。	ヤ・シィパーク西側から香我美町岸本までの700mサイクリングロードや物部川河川敷の道が完成次第、PR媒体(パンフレット)の作成を進め、県外への情報発信を深めていく。 また、夜須町から吉川町へとサイクリングロードがつながったことから、今後は、関係機関と協議を行い、高知龍馬空港や物部川を北上した香美市まで利用できるような計画をつくり、取り組んでいく。

観光 (サイクリスト 誘致)	<p>3-1.イベント・大会の開催 (三宝山ヒルクライム)</p> <p>【目標値】 参加者数 (100人) ※香南市観光協会の各SNSを対象</p> <p>6月末実績：今年度の開催を断念</p> <p>【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 等</p> <p>【連携する分野】 観光分野 / 商業分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の 取組の推進</p>	<p>【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店・宿泊施設等の収益増につながるイベント・大会として開催する。</p> <p>R2 : 開催調整 (完了後募集周知開始) [NPO高知CyclingProject Maze-Cle、香南市]</p> <p>R3.2or3月 : イベント開催</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 当初、10月開催予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催に向けた準備に係る時間を確保できないと判断し、今年度の開催については中止。</p>	<p>当初、10月開催予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を中止した。</p>	<p>来年度は三宝山頂上が使用できるか不明なため、「三宝山頂上」を使用してのヒルクライムは難しいと考えている。 今後は、20～30人くらいのサイクルイベントを段階的にを行い、当初の企画へ近づけていく方針。(NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle)</p>
	<p>3-2.イベント・大会の開催 (ツール・ド・トレイン)</p> <p>【目標値】 参加者数 (20人) 6月末実績： 0人</p> <p>【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市</p> <p>【連携する分野】 観光分野、商業分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の 取組の推進</p>	<p>【当初】 自転車と鉄道の連携によるサイクルイベントを通じ、観光客誘致と、市のPR、市内飲食店等の収益増につなげる。</p> <p>R元年度中 : 土佐くろしお鉄道と調整 (完了後募集周知開始) [香南市・NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle]</p> <p>R2 : イベント開催 [NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle]</p> <p>※これまで香南市観光協会が主催で開催していたが、R2以降は事業予定をしていないことから、NPO法人 高知CyclingProject Maze-Cleが引き継ぎ、考案・調整し直し、開催を行う。 ※市広報による支援を実施 [香南市]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.5.16(土)にくろしお鉄道と開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響でイベント開催を中止した。</p>	<p>今回の開催予定である R2.10.25(日)の実施に向け、協議を行い調整を図っていく。(土佐くろしお鉄道と協議)</p>
	<p>3-3.イベント・大会の開催 (ポタリング)</p> <p>【目標値】 参加者数 (240人) 6月末実績： -人</p> <p>【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle 香南市</p> <p>【連携する分野】 観光分野 / 商業分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の 取組の推進</p>	<p>【当初】 「カフェライド」として飲食店を目的地とした気軽に参加できるイベント。市内飲食店等の収益増につながるイベント・大会を開催。</p> <p>R2.4月より開催 [毎月1回 (年12回) 開催。定員 20人] ※目的地、ルートはその都度設定していく。 ※市広報による支援を実施 [香南市]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 新型コロナウイルス感染症のため、密にならない方法を模索し、7月から再開する。</p> <p>[今後の予定] R2.7.11 : カフェライド…中止(雨天のため自転車講習会へ変更) R2.8.8 : カフェライド</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に加え、大雨等の天候不順の影響もあり、予定していた開催はすべて中止となっている。</p> <p>(参考) 7月開催予定の予約人数：16人 ※ 愛媛県からの参加者もいたが、大雨の影響により中止 ※ 募集人数は過密回避のため、15人定員に変更</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応を行うとともに、第2波の影響も鑑みながら、開催に向けて取り組んでいく。</p>
	<p>3-4.イベント・大会の開催 (シクロクロスカップ)</p> <p>【目標値】 参加者数 (120人) 6月末実績： -人</p> <p>【実施主体】 高知県シクロクロス実行委員会 香南市</p> <p>【連携する分野】 観光分野 / 商業分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の 取組の推進</p>	<p>【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。</p> <p>R2. 秋 : 開催に向けた調整 (高知県シクロクロス実行委員会・香南市 連携) 調整完了後募集周知開始</p> <p>R3.1月 : 大会開催 ※市広報による支援を実施 [香南市]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 10月に物部川河川敷を会場に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため開催するかについて検討をしている。</p>	<p>10月に物部川河川敷を会場に開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため開催するかについて検討をしている。</p>	<p>同左</p>

観光 (サイクリスト 誘致)	3-5.イベント・大会の開催 (3市ロングライド)	<p>【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、市内飲食店・宿泊施設等の収益増につながる大会を開催。</p> <p>R2 : NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが中心となり、開催に向けて南国市・香美市・香南市・(一社)物部川DMO協議会・国土交通省・警察等関連機関と調整を行う (※調整終了後、募集周知開始)</p> <p>R3.11 : イベント開催 [実施主体は調整のうえ決定] ※ 観光分野の物部川エリア観光連携事業と連携する</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 来年度の開催について、(一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで調整中。</p>	来年度の開催を(一社)物部川DMO協議会とNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで検討中。	新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、現在、NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleでは大きなイベントより、ツアー商品の強化に力を入れたいと考えているため、開催自体の検討を行っていく。
	<p>【目標値】 大会に向けた整理</p> <p>6月末実績 : -</p> <p>※ R3中の開催に向けた調整</p> <p>【実施主体】 NPO法人高知CyclingProject Maze-Cle (一社)物部川DMO協議会 香南市・香美市・南国市</p> <p>【連携する分野】 観光分野、商業分野</p> <p>県 物部川アクションプラン NO.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進</p>	4.サイクリングガイドの育成とサイクリストの誘致	<p>【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 サイクリングガイドが市内の案内を実施する。 [Maze-Cle]</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画内でシステムの構築。[香南市] 年内中にサイクリングガイドの会(仮)を作り、ガイド育成と登録・管理を行う。 [Maze-Cle] ※ ガイド育成はサイクリングターミナルを活用</p> <p>R3 : 実働開始</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 当初5月に予定していた(ガイド利用の)自転車講習会は新型コロナウイルス感染症の影響で、中止。</p>	モニターツアーが新型コロナウイルス感染症により開催できていない。 また、サイクリングツアー商品の造成に時間がかかっており、取りまとめるガイド機能も遅れている。 集団(ガイド) 走行講習は、R2.1月と7月のカフェライドが雨天時で中止になったときに自転車講習会として開催した。
健康づくり (市民向けの 取り組み)	◆ 自転車を活用した健康づくり			
	1. 健康サイクリングの開催	<p>【当初】 県の健康パスポート事業を活用した健康サイクリングを年4回実施。 自転車を活用した健康に関することについて広報誌で啓発活動を行う。 【健康サイクリング開催時期】(年4回) R2 : 4月、5月、9月、10月に開催</p> <p>[サイクリングターミナルでの座学と実走] 募集人数25人。 【啓発活動実施時期】 年4回広報への掲載 (健康サイクリング開催時期に合わせる)</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 4月 : 中止 5月 : 中止</p>	新型コロナウイルス感染症の影響を考え、4月・5月の開催を中止した。	前年度開催の期間を空ける方式だと、効果の薄れや月越しによる参加者数が低下(間延び)するため、新型コロナウイルス感染症も、考慮し当初の開催時期を見直し、10月に3回開催することで図っていく。 また、イベント時だけ乗ってもらうのではなく、通勤等日常的に乗ってもらえるような仕組みづくりを行っていきたい。
2. タンデム自転車の利用推進	<p>【当初】 ■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 タンデム自転車を活用できる施設や事業(高齢者教室、婚活イベント等)と連携し、活用機会を拡大することにより、レンタサイクル利用者増に繋げる。 (参考:R1.11月に婚活イベントで活用)</p> <p>【整備】 R2.4月:サイクリングターミナルにタンデム自転車を2台購入(旧式と入れ替え) [香南市]</p> <p>【活用機会の拡大】 ①タンデム自転車を売り込むと共に、活用したい施設の催しへ貸し出す。 [サイクリングターミナル] ③タンデム自転車講習会を開催する(年1回以上) [香南市] ②タンデム自転車のパイロット育成教室でスキルを得たパイロットを利用希望者に合わせて派遣する。 ※人員登録管理等はNPO法人高知CyclingProject Maze-Cleで実施</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 本年度のタンデム自転車講習会については、10月の開催に向けて協議を進めている。</p>	タンデム自転車講習会が予定されていたオーペビア やとさてらす等のイベントが、新型コロナウイルス感染症により中止。	例年2月に開催をしていたタンデム自転車講習会ですが、参加された方々から『寒さやイベント性(実走行)を強めてほしい』との声が多くあったことから、今年度は10月の開催を予定している。 また、タンデム自転車講習会とは別の取り組みとして、市内開催のいろいろなイベントにタンデム自転車を持っていき、身近に感じてもらうように計画をしていく。 <p>(タンデム自転車を活用していただきたいイベント等) ・ R2.10 : 物部川DMO主催のイベント ・ R2.11 : ヤ・シイパーク開催のイベント 等</p>	

健康づくり (市民向けの 取り組み)	3. 通勤等への自転車活用推進	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車は環境にやさしい乗り物であることを認知してもらい、通勤等に利用する人の増加を目指す。</p> <p>【取組内容】 R2…自転車活用推進計画策定 R3～サイクルラックを無償貸与。市内企業等が行う駐輪場整備に対しては補助を想定。</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 サイクルラックの設置、駐輪場整備の基準等精査していくための自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。</p>	サイクルラックの設置、駐輪場整備の基準等精査していくための自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。	サイクルラックは40基購入し、最初は市施設から、その後事業者へ貸与し、管理をお願いし、事業者数を増やしていく。
	4. ヘルメット着用率の向上	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車の死亡事故のうち、損傷箇所トップである頭部を守るためヘルメット着用を推進する。これにより、万が一の事故に対する危険度を下げ、自転車利用者増加につなげる。特に18歳以下の児童等については「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で着用の努力義務化がうたわれている。通学外でもヘルメットを自ら着用し、事故に対する意識を向上させる。これにより、卒業後も自転車に理解がある社会人として市の自転車推進の一端を担ってもらおう。 ※市内の自転車利用者のヘルメット着用率100%に向けた取り組み。 ※学校に関しては香南市教育委員会・学校と調整し進める。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 R3.3 : 市内児童・生徒に対し、通学外でもヘルメットを着用することを目的に、現購入補助 ・教育委員会を通学者以外も対象とするよう補助制度を拡大する。 ・通学用ヘルメット兼 ・一般(高校生以上)にも補助(50%)を用意する。 ※R元年度全児童生徒数…2,439人</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の中でヘルメットの着用推進方法を検証していく。</p>	自転車活用推進計画策定中のため、動きなし。	購入補助や通勤・通学者にもヘルメットの大切さを知ってもらい、ヘルメットの着用率等で表彰される制度等R2年3月までにつくる。
	5. 交通安全教室の開催	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 一般住民や市内全学校での交通安全教室を行い、自転車への理解を促し、次代を担う若者等への啓発を行う。 一般向けは親子向けも企画してサイクリングターミナルを利用した座学も行う。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 (策定中に教育委員会と調整し、全学校へカリキュラム導入を進め開催時期を設定する) R3以降: 交通安全教室の開催 [学校向け…香南市・香南市交通安全指導員協議会・学校] [一般向け…香南市・サイクリングターミナル]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 新型コロナウイルス感染症のため、学校で行う交通安全教室が秋開催となった。市防災対策課と協力して開催を行っていく。</p>	新型コロナウイルス感染症のため、学校で行う交通安全教室が秋開催となった。	秋は夏と比べ気候的に走りやすく、サイクリストも増加する。その季節に合わせてMaze-Cleでも交通安全教室を実施予定。 ▼防災対策課と協力した教室は下記のとおり (9月) 野市保育所・香我美小学校・野市中学校 (10月) 赤岡保育所・野市東保育所・夜須保育所・香我美幼稚園 夜須幼稚園・野市東幼稚園・赤岡小学校・吉川小学校 香我美中学校 ▼NPO法人高知CyclingProject Maze-Cleが実施する教室は下記のとおり。 10月開催予定
◆ 自転車を活用したまちづくりの推進				
健康づくり (市民向けの 取り組み)	1. 香南市自転車活用推進計画の策定	<p>【当初】</p> <p>R2.4月 : 策定コンサル入札(調査・計画取りまとめ) R2.5月 : 策定開始 ※内容案は市・策定委員会主導で立案 ※策定委員会は当専門委員会メンバーを中心に構成し、5回を予定 R2.11月 : 計画策定完了 ※R1中にコンサル仕様書作成、策定委員会設立に向けた調整、キャッチフレーズの確定(ちりりん香南(仮))を行っておく</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.6 : 契約審議会 R2.7 : 参考見積取得 R2.8 : 入札予定</p>	資料集め等に時間を要したことから、6月からの取り組みとなった。	10月からの策定開始を目標にしている。このことから、当初予定していた今年度中の策定は難しい状況となっている。
	<p>【目標値】 計画の策定 6月末実績 : △ 計画の策定に向けた入札の準備を実施。</p> <p>【実施主体】 香南市</p> <p>【連携する分野】 -</p>			

◆ サイクリストにやさしい観光の充実				
環境整備 (ハード整備)	1. サイクルラック導入事業	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 現状では自転車を店先へ立てかけていることが多く、見た目も良いとは言えないことから、サイクルラックを導入することにより、スマートに駐輪してもらうと共に、自転車に対してウェルカムな姿勢を持って、『自転車に理解があるまち』であることを体現しながら、サイクリストに立ち寄りやすい環境づくりを構築する。 ☞ 市庁舎・市内観光施設・宿泊施設・飲食店等へサイクルラックを導入する。 ※ 市が購入し、貸与する ※キャッチフレーズ「ちりりん香南(仮)」を使用予定</p> <p>【設置数】 R2 : 40箇所(市施設25+事業所15) R3以降 : 15箇所/年</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 サイクルラックの設置場所を精査していくための自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。</p>	サイクルラックの設置場所を精査していくための自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。	サイクルラックの購入(40基)し、香南市の施設から設置を進めていく。その後、自転車推進計画を計画していく中で、事業者等へ貸与を行い、管理をお願いしていく。
	2-1.環境整備(ブルーライン整備)	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 ・ブルーラインの整備を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進すると共に市民の意識を向上させる。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定[香南市] (計画内でブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ビクトグラム等を決定) ※国道・県道等への敷設調整を行う。</p> <p>R3以降 : ①市内サイクリングコース8コースへの整備[香南市] ②国道・県道への整備[国・高知県]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の中でブルーライン設置場所等精査していく。自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組めていない。</p>	自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。	自転車活用推進計画の中でブルーライン設置場所を決定し、今年度の物部川河川敷サイクリングコースの完成に合わせ、国道・県道等へ敷設調整を行う。 敷設はサイクリングパンフレットを作成した後のR3年度を予定。
	2-2.道路環境整備(施設や店舗への案内板整備)	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 ・市内観光施設や店舗への案内看板の設置を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定[香南市] (計画内でブルーラインの敷設箇所、間隔、記載内容、使用ビクトグラム等を決定) ※国道・県道等への敷設調整を行う。</p> <p>R3以降 : ①市内サイクリングコース8コースを対象として整備[香南市] ②国道・県道を対象とした「整備計画」を国・県と協議[香南市]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組めていない。</p>	自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。	自転車活用推進計画の中で案内板等設置場所を決定し、今年度の物部川河川敷サイクリングコースの完成に合わせ、設置調整を行う。 整備はサイクリングパンフレットを作成した後のR3年度を予定。
	2-3.環境整備(国や県と連携したハード整備)	<p>【当初】 国・県と連携して自歩道整備を進め、新しいサイクリングコースとして設定する。</p> <p>R2.5月 : ヤ・シィパーク西自歩道・連結道の整備完了(ヤ・シィパーク～岸本間) (実施主体:高知県中央東土木事務所) R2 : 物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間) (実施主体:四国地方整備局) ※管理者と協議し、ルートにはサイクリングコース愛称をつける。[香南市] ※R3に予定している三市ロングライドイベントに活用する。[香南市]</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 R2.6 : ヤ・シィパーク西自歩道・連結道の整備完了 ※道路課にコースの愛称をとの話をしたが、高知安芸間の全自治体と関連事業者が関わることですぐには難しいとのこと。時間をかけて行っていく。 R2.7末 : 物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間)完了予定</p>	昨年から工事を行ってきた2コースについて、県や国土交通省と連携を取りながら環境整備を行っている。	物部川右岸河川敷自歩道整備(空港～戸板島間)が7月末に完了予定。 R3年予定の三市ロングライドイベントについては現在検討中である。また、物部川河川敷を自転車イベント等の会場に予定していることから、新たに整備された道の活用も視野に協議を図っていく。
	3.サイクリングターミナルの利活用、再整備	<p>【当初】</p> <p>■自転車活用推進計画主導取組のため想定で記載中 自転車に特化した観光・交通安全教室等・合宿等を行うよう利活用を進める。</p> <p>R2 : 自転車活用推進計画策定 (計画内で施設の特徴を活かした利活用方法の再検討と利用方針の決定、再整備に向けた検討) 策定後即実施 (策定前、策定中でも可能であることはR1中に確定させ即実施) R3以降 : 整備開始</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組めていない。</p>	自転車活用推進計画の進捗状況に遅れを生じていることから、取り組みを行っていない。	自転車活用推進計画の中で「観光と健康の拠点」として、サイクリングターミナルの利活用を検討し、R3年度から整備を開始する。

	R2年度 数値目標	実績値 (6月末実績)	評価	備考
-	-	-	-	

■ 取組の総評 (※ 左の数値に対しての総評)

【R2.4月～6月末の取組について】(P・D・C)
 住宅リフォーム推進事業は順調に推移しており、人気の高い取組となっている一方で、新型コロナウイルスの影響により、資材等が手薄になっている状況もあり、市営住宅への対応は遅れが生じている。耐震化事業については、第1期で一定進んできていた影響もあり、申請は減少傾向にある。空き家対策事業については、昨年度までの取り組みに加え、まちづくり協議会や自治会等と連携を図れる関係を築いたこと等から、既に今年度の目標値については達成が見込まれている。また、新型コロナウイルスの影響により、移住フェア等の開催が見送られているが、市の移住相談窓口では、Zoomを活用し、香南市への移住について対応をしてきている。

【R2.6月以降の取組について】(A)
 新型コロナウイルスの影響をうけている事業もあるが、各事業の目標値に対するPDCAサイクルを今後も進めていくとともに、各事業の中で、課同士が連携しあって、目標の達成を目指していく。また、他分野から、「住宅分野で議論いただきたい内容」を聞き取る等の取り組みを進め、当部会で検討できるものに関しても課同士の連携を図り、新たな課題解決に向けた事業や新事業を検討していきたい。

戦略の柱	事業名	具体的な取組【D】	総括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R2年度の目標値【P】 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(下半期)に向けて
住環境の整備 ・ 支援	◆ 住環境の整備			
	1. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム推進事業費補助金)	【当初】 市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%(上限20万円)を補助する事業。 ※ 当事業は2年更新の事業であり、次期更新検討はR3年度を予定。見直しによって数値目標の下方修正の可能性もある。 【6月末までの取組状況】 6月末現在の申し込み状況は50件となり、総事業費は734.6万円となっている。当補助金の上限額は1,500万円となり、既に566.8万円の交付決定を行っている。	昨年度より、既に活用した方であっても、活用ができるように補助金要綱を改める等の対応を行ったことから、活用される割合は高い補助金となっている。	今年度における交付決定者についての進捗管理を行うとともに、事業を取りやめる方がいた場合には、新たな方への活用を促す等の取り組みを行い、今後も香南市の住む環境の維持・更新に努めるとともに、リフォームに携わる市内事業者の振興へと寄与していく。
	【目標値】 総事業費(10,000万円) 6月末実績： 734.6万円 (50件) 【実施主体】 香南市(建設課) 【連携する分野】 -	【当初】 市営住宅の生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する事業。 【6月末までの取組状況】 工事の設計は22戸できているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、工事材料等が海外から輸入されない状況であり、工事の着工に至っていない。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、粛々と事業を進めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、工事の着工に移れるように準備を進めていく。また、工事予定住宅の住民の方には、工事の日程が分かりやすい周知をし、工事がスムーズに行われるように協力を依頼する。
2. 市営住宅の生活環境の保全及び公衆衛生の向上事業	【当初】 市営住宅の生活環境の保全、及び公衆衛生の向上に向け、単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と、福祉対応型改修工事として、手すりを新設する事業。 【6月末までの取組状況】 工事の設計は22戸できているが、新型コロナウイルス感染症対策のため、工事材料等が海外から輸入されない状況であり、工事の着工に至っていない。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、粛々と事業を進めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、工事の着工に移れるように準備を進めていく。また、工事予定住宅の住民の方には、工事の日程が分かりやすい周知をし、工事がスムーズに行われるように協力を依頼する。	
3. 宅地造成整備事業	【当初】 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標数値である2060年の人口30,800人の維持に向け、関係機関と連携を図りながら、移住希望者の受け皿となる居住地の確保や市街地との人口格差解消のための新たな宅地の候補地の選定及び整備に取組み、定住の促進を図る。 R2 : 当事業の方向性及び対象地等の選定等。 R3～ : R2年度の取組みをより進めていく。 【6月末までの取組状況】 香我美地区における候補地において、事業規模を想定するための概略検討(造成平面計画作成・施設検討・概算工事費算出等)を行う必要があることから、資料作成に着手。	粛々と事業の準備を進めていく。	11月までに資料作成を行い、その資料をもと概略検討を行う予定。また、候補地の選定および整備(実施設計)にとりかかる。	
	【目標値】 当事業の方向性及び対象地等の選定等。 6月末実績： - 【実施主体】 香南市(建設課) 【連携する分野】 - 香南市都市計画マスタープラン			

◆ 住環境の整備耐震化事業				
住環境の整備 ・ 支援	<p>1. 住宅耐震診断事業 【補助金利用件数(件)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造 香南市木造住宅耐震診断事業 ・非木造 香南市非木造住宅耐震診断費補助金 <p>※香南市耐震改修促進計画の目標件数(約300件)を第2期計画間に対応していく。</p> <p>【目標値】 補助金活用件数 60件 6月末実績：25件</p> <p>【実施主体】 香南市(防災対策課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)</p>	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断費用を補助。(木造：自己負担3千円、非木造：上限30千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示</p> <p>【6月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・チラシの配布 	<p>耐震化が一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。</p>	<p>自主防連絡会での周知や戸別訪問の実施、市イベントでブース展示を予定しており、引き続き啓発を行う。</p>
	<p>2-1. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金)</p> <p>【目標値】 設計件数(60件) 6月末実績：15件</p> <p>【実施主体】 香南市(防災対策課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)</p>	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については安全でないと判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その設計費用を補助。(設計 上限305千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示</p> <p>【6月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・チラシの配布 	<p>耐震化が一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。</p>	<p>自主防連絡会での周知や戸別訪問の実施、市イベントでブース展示を予定しており、引き続き啓発を行う。</p>
	<p>2-2. 住宅耐震改修事業 (香南市住宅耐震改修工事費等補助金)</p> <p>【目標値】 工事数(60件) 6月末実績：21件</p> <p>【実施主体】 香南市(防災対策課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)</p>	<p>【当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震診断事業の結果等で、木造については評点が1.0未満と診断された住宅(非木造については安全でないと判断された住宅)に対し、改修後の評点が1.0以上(非木造については安全性が確認された住宅)となるものについて、その工事費用を補助。(工事 上限1,000千円) ・各地で震災があった後には、問い合わせが多くなる傾向にあることから、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。 <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載 チラシ配布、自主防連絡会で周知、戸別訪問の実施、市のイベント等でブース展示</p> <p>【6月末までの取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市広報、HPへの掲載 ・チラシの配布 	<p>耐震化が一定進んできており、近年申請件数は減少傾向にある。ただし、各地で震災があった後には問い合わせが多くなる傾向にあり、震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。</p>	<p>自主防連絡会での周知や戸別訪問の実施、市イベントでブース展示を予定しており、引き続き啓発を行う。</p>

<p>住環境の整備 ・ 支援</p>	<p>3. コンクリートブロック塀等耐震対策事業 (香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金)</p> <p>【目標値】 補助事業数(25件)</p> <p>6月末実績：5件</p> <p>【実施主体】 香南市(防災対策課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市耐震改修促進計画)</p>	<p>【当初】 ・避難路等に面している危険性のあるコンクリートブロック塀等を撤去したり、安全なフェンス等に作り替える経費に対して補助。 (上限205千円) ・平成30年6月の大阪府北部地震後に問い合わせが多数あり、コンクリートブロック塀耐震対策の必要性について住民の意識が高まった。</p> <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・市広報、HPへの掲載 ・チラシの配布</p>	<p>H30.6月に発生した大阪府北部地震以降、住民の関心が高まり近年問い合わせは増加していたが、今年度は減少傾向にある。震災前の対策として取り組んでいただけるように周知していく必要がある。</p>	<p>自主防連絡会での周知、市広報で点検の注意喚起、戸別訪問の実施、市イベントでブース展示を予定しており、引き続き啓発を行う。</p>
<p>空き家対策への 取り組み</p>	<p>◆ 空き家対策事業</p> <p>1. 老朽住宅等除却事業 (香南市老朽住宅等除却事業費補助金)</p> <p>【目標値】 除却事業対象件数(30件)</p> <p>6月末実績：8件</p> <p>【実施主体】 香南市(防災対策課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)</p> <p>2. 空き家バンク事業</p> <p>【目標値】 空き家バンク新規登録件数(12件)</p> <p>6月末実績：5件</p> <p>【実施主体】 香南市(地域支援課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)</p>	<p>【当初】 避難路等に面している又は延焼等により近隣住宅に影響する場所に存在する著しく老朽化した住宅等の除却に要する経費に対して補助。(補助率80%、上限1,645千円)</p> <p>※老朽化した空き家の増加や制度が住民に広く認知されるようになってきている。</p> <p>【周知方法】 市広報、HPへの掲載、チラシ配布、自主防連絡会で周知</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 ・市広報、HPへの掲載 ・チラシ・リーフレットの配布</p> <p>【当初】 まちづくり協議会や不動産業者等、地域との連携による空き家情報収集や移住相談員による活用可能な空き家調査を継続して実施し、空き家の掘り起こしを行うことで、市内空き家の有効活用を通じた移住希望者への住宅提供が出来るよう取り組んでいく。</p> <p>【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載及び空き家調査の実施。 空き家調査は、コロナの影響で年度当初は実施できなかったが、5月下旬から再開した(野市地区27件)。 また、オンライン相談窓口を開設し、空き家バンク等の相談に応じている。</p>	<p>老朽化した空家の増加や制度の認知度の高まりにより、問い合わせは増加傾向にある。</p> <p>コロナ禍でも窓口相談は通常どおり行っており、また、空き家バンクや空き家に関する情報をホームページにて更新していたこともあり、5件の登録があった。</p>	<p>自主防連絡会での周知、引き続きHPへの掲載やチラシやリーフレットを配布し周知・啓発を行う。</p> <p>今後、地域との連携による空き家情報の収集や空き家調査を継続して行っていく。</p>
	<p>3-1. 空き家改修事業 (空き家改修) (香南市空き家改修事業費等補助金)</p> <p>【目標値】 改修件数(3件)</p> <p>6月末実績：4件</p> <p>【実施主体】 香南市(地域支援課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)</p> <p>3-2. 空き家改修事業 (空き家修繕) (香南市空き家改修事業費等補助金)</p> <p>【目標値】 改修件数(2件)</p> <p>6月末実績：2件</p> <p>【実施主体】 香南市(地域支援課)</p> <p>【連携する分野】 (香南市空家等対策計画)</p>	<p>【当初】 ※ 空き家改修事業：国県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、耐震化を必須として、トイレの水洗化等住宅性能の向上のためのリフォームに要する費用を補助する。</p> <p>【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 相談窓口での制度説明や市広報誌への掲載を行った。</p> <p>【当初】 ※ 空き家修繕等支援事業：一部県財源措置あり 市の空き家バンクに登録している、空き家の所有者または空き家を使用する移住者に対し、有耐震性を前提に空き家の軽微な修繕費(200千円以下で、空き家の通常使用による損耗等で居住に際し支障となる箇所の取替、朽ちた畳の交換、網戸の設置等)を補助する。</p> <p>【周知方法】 相談窓口での制度説明、市広報・HPへの掲載、チラシの全戸配布等</p> <p>【6月末までの取り組み状況】 相談窓口での制度説明を行った。</p>	<p>相談窓口での制度説明による認知度の向上や、昨年度、移住者へのスムーズな住宅提供を目的として、マッチング前に補助金活用ができるように要綱を見直したことなどにより、申請件数は増加傾向にある。</p> <p>相談窓口での制度説明による認知度の向上により、申請件数は増加傾向にある。</p>	<p>今後も制度の周知を継続し、今年度及び来年度に向けて取り組んでいく。</p> <p>今後も制度の周知を継続し、今年度及び来年度に向けて取り組んでいく。</p>